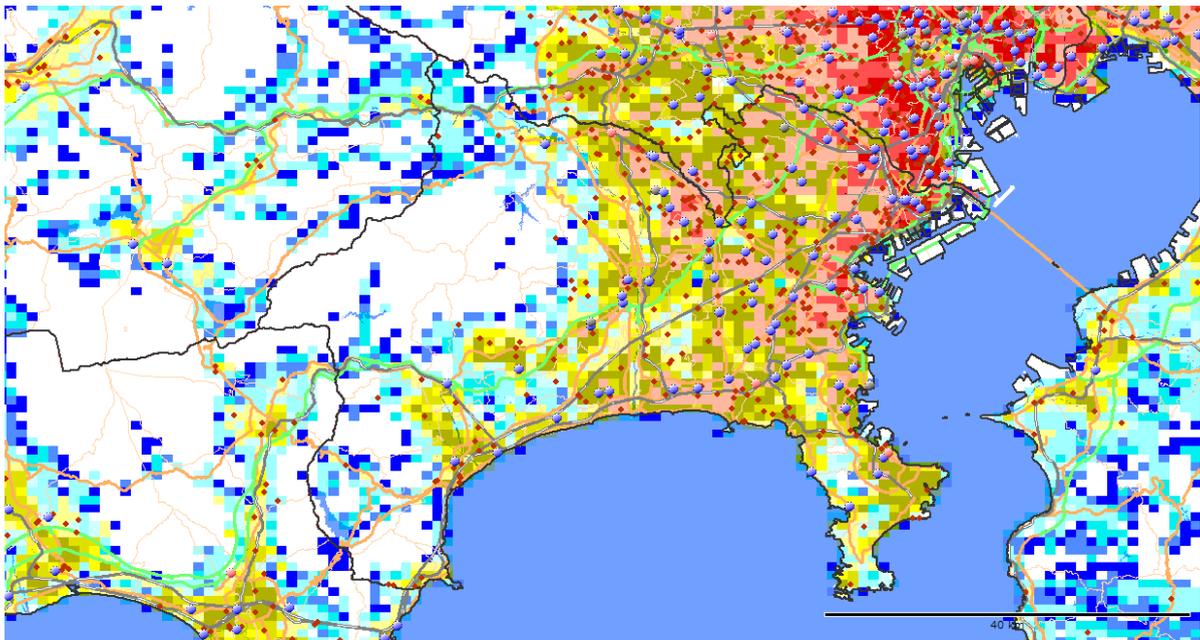


目次

神奈川県	14	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	14	-	8
1. 横浜北部医療圏	14	-	26
2. 横浜西部医療圏	14	-	31
3. 横浜南部医療圏	14	-	36
4. 川崎北部医療圏	14	-	41
5. 川崎南部医療圏	14	-	46
6. 横須賀・三浦医療圏	14	-	51
7. 湘南東部医療圏	14	-	56
8. 湘南西部医療圏	14	-	61
9. 県央医療圏	14	-	66
10. 相模原医療圏	14	-	71
11. 県西医療圏	14	-	76

14. 神奈川県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(神奈川県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 神奈川県は、総人口約9126千人(2015年)、面積2416km²、人口密度は3778人/km²である。

*人口の将来予測： 神奈川県の総人口は2025年に9010千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に8343千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の984千人が、2025年にかけて1485千人へと増加し(2015年比+51%)、2040年には1592千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 神奈川県の一人当たり医療費(国保)は327千円(偏差値46)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費、介護給付費ともにやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 神奈川県の一人当たり急性期医療密度指数²は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.5で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 神奈川県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、115066人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が56017床(偏差値46)、高齢者住宅等が59049床(偏差値61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、74870人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム69、軽費ホーム47、グループホーム50、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、13206人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

神奈川県の総人口は、2005年8791597人が、2015年に9126214人と4%増加し、2025年の人口が9009667人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

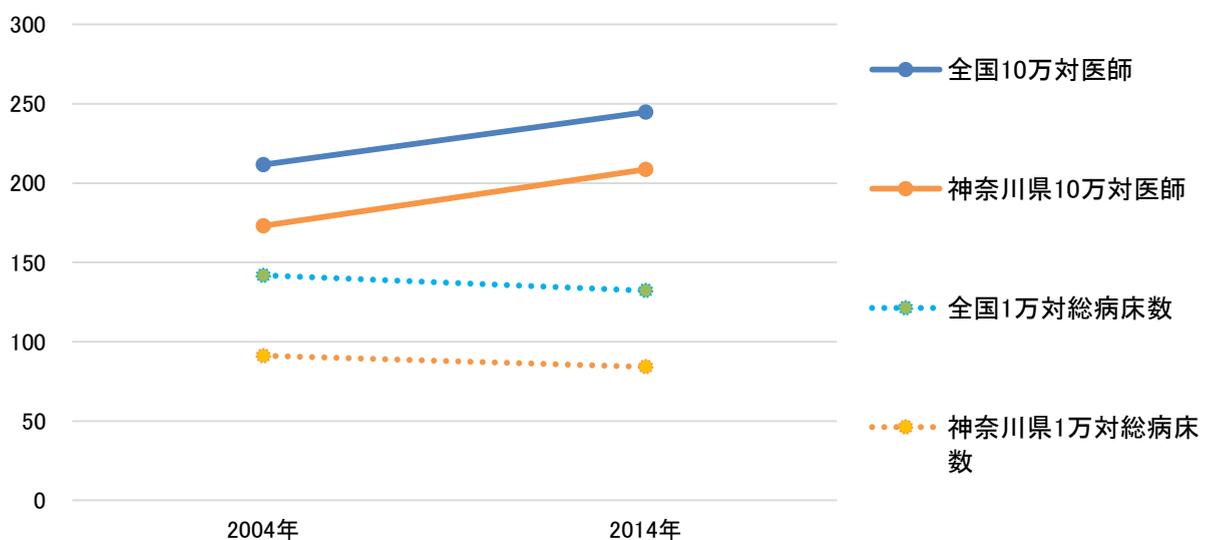
2004年の病院数が357(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に342(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で15病院が減少した。

2004年の診療所数が5977(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に6556(人口10万人当たり72診療所(全国平均79)偏差値46)と、579診療所が増加した。

2004年の総病床数が80171床(人口1万人当たり91(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に76845床(人口1万人当たり84(全国平均132)偏差値41)と、3326床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

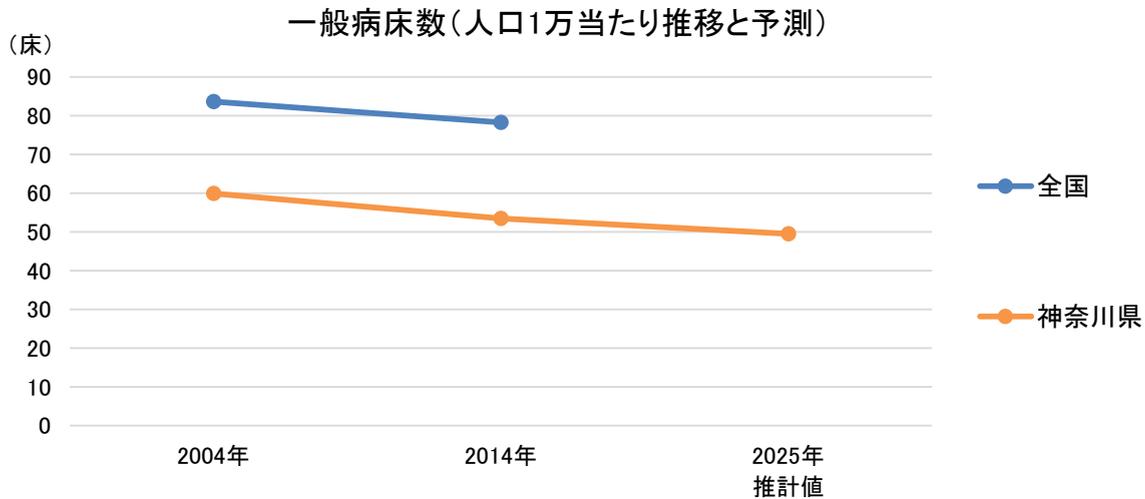
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が15209人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に19036人(人口10万人当たり209人(全国平均245人)偏差値46)と、3827人の増加、率にして25%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



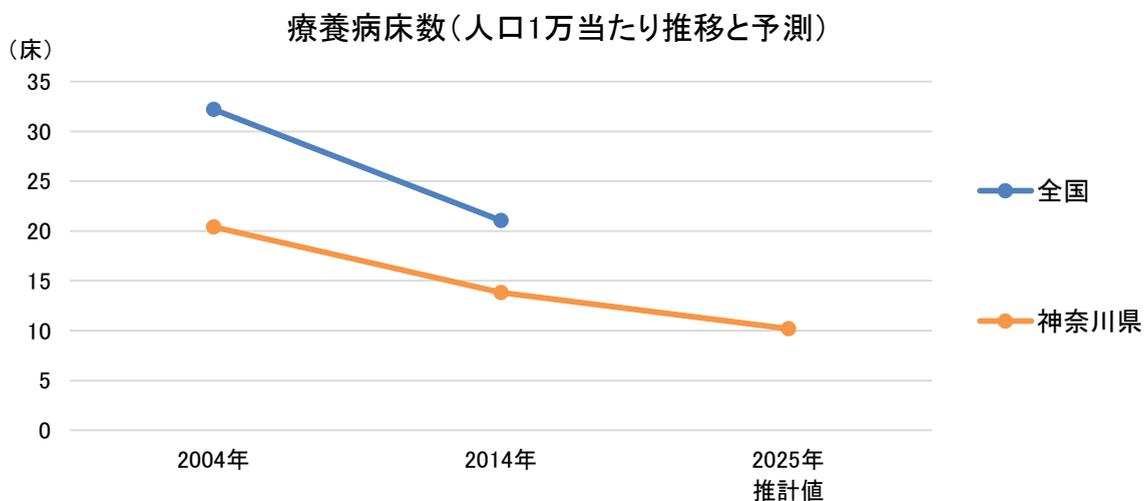
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が52665床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に48842床(人口1万人当たり54(全国平均78)偏差値41)と、3823床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には44637床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



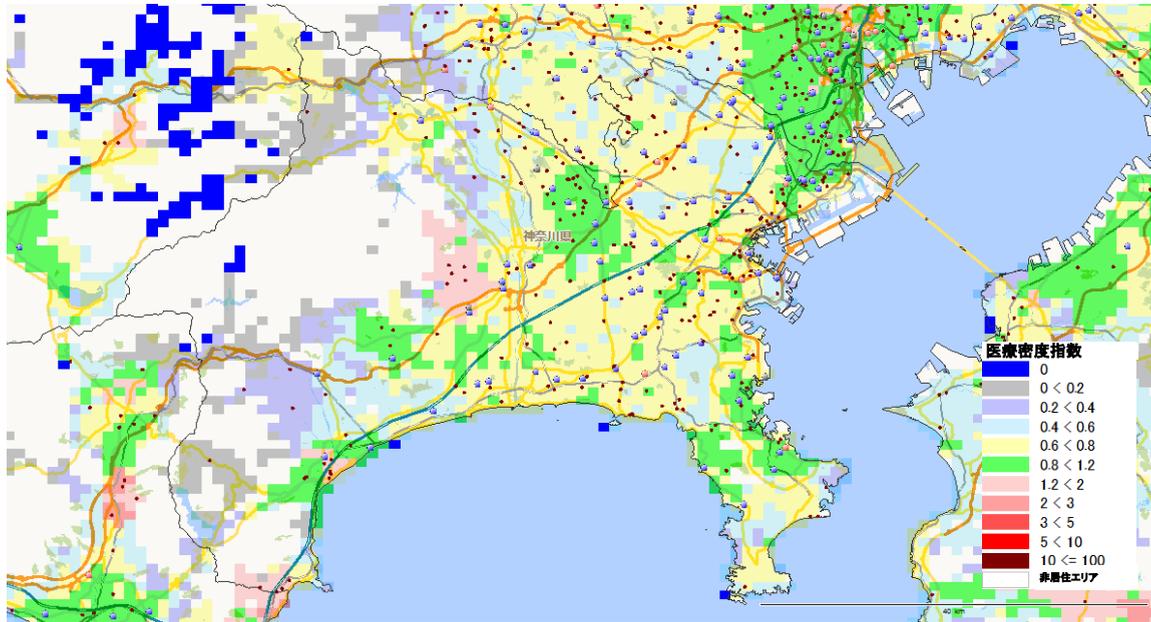
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12221床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に13613床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、1392床の増加、率にして11%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には15144床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



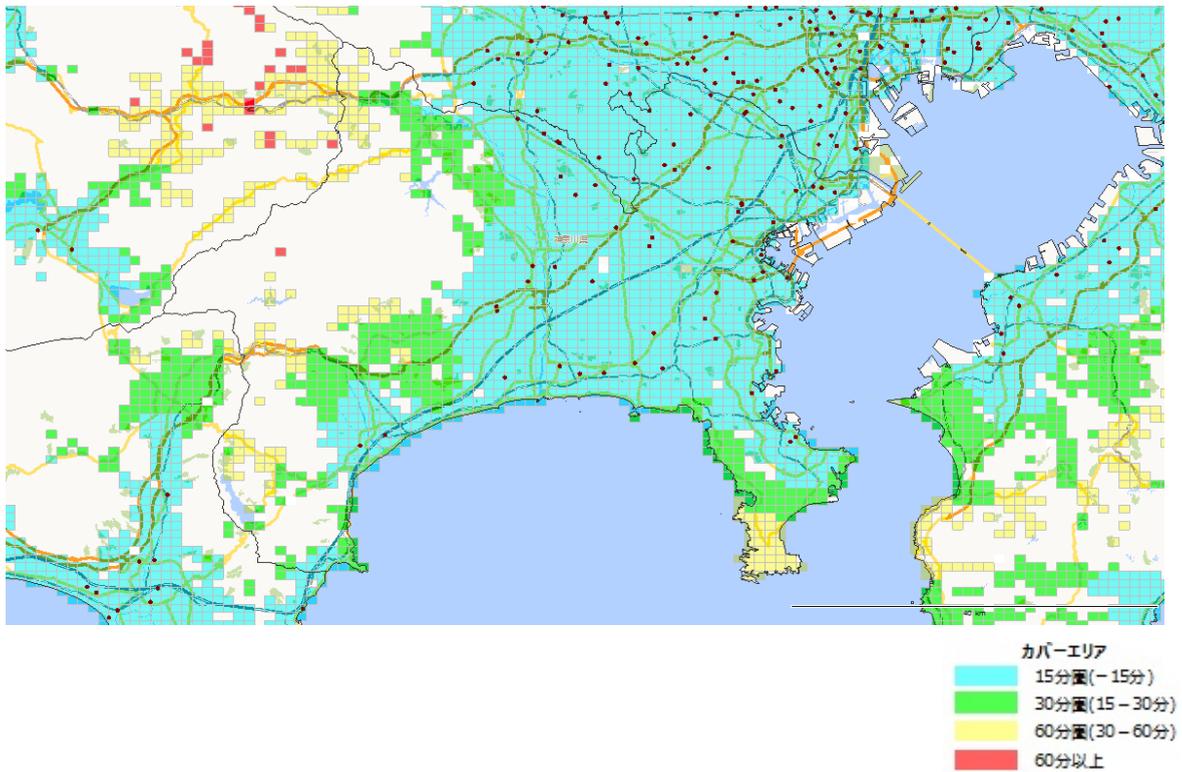
(神奈川県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



14.神奈川県(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 14-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
神奈川県	9,126	2位	2,416	43位	3,777.7		24%	9,010	8,343	984	1,485	1,592	-1%	-7%	51%	7%
横浜北部	1,570	17%	177	7%	8,873.8	大都市型	20%	1,608	1,576	141	228	284	2%	-2%	62%	25%
横浜西部	1,105	12%	138	6%	7,994.2	大都市型	25%	1,088	992	135	201	209	-2%	-9%	49%	4%
横浜南部	1,050	12%	122	5%	8,582.8	大都市型	26%	1,017	899	126	191	193	-3%	-12%	52%	1%
川崎北部	843	9%	79	3%	10,714.1	大都市型	19%	879	868	73	120	150	4%	-1%	64%	25%
川崎南部	632	7%	64	3%	9,828.8	大都市型	19%	624	607	56	75	83	-1%	-3%	34%	11%
横須賀・三浦	714	8%	207	9%	3,453.4	大都市型	30%	667	570	106	138	123	-7%	-15%	30%	-11%
湘南東部	711	8%	119	5%	5,995.9	大都市型	24%	695	650	78	112	117	-2%	-6%	44%	4%
湘南西部	587	6%	253	10%	2,316.7	大都市型	26%	572	509	67	104	106	-3%	-11%	55%	2%
県央	846	9%	293	12%	2,888.4	大都市型	23%	823	747	82	133	136	-3%	-9%	62%	2%
相模原	721	8%	329	14%	2,193.1	大都市型	24%	711	651	73	120	130	-1%	-8%	64%	8%
県西	347	4%	635	26%	546.6	地方都市型	29%	325	275	48	64	61	-6%	-15%	33%	-5%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 14-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
神奈川県	0.74	0.50	103,857	120,881	-16.4%
横浜北部	0.73	0.49	15,909	18,553	-16.6%
横浜西部	0.75	0.25	17,432	16,329	6.3%
横浜南部	0.75	0.37	9,125	15,550	-70.4%
川崎北部	0.70	0.28	11,456	9,776	14.7%
川崎南部	0.86	0.35	4,661	6,110	-31.1%
横須賀・三浦	0.67	0.56	9,934	11,202	-12.8%
湘南東部	0.75	0.79	6,451	9,092	-40.9%
湘南西部	0.86	0.67	7,040	8,486	-20.5%
県央	0.76	0.93	7,631	10,817	-41.8%
相模原	0.64	0.82	8,417	9,730	-15.6%
県西	0.68	1.01	5,801	5,236	9.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の数目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 14-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
神奈川県	327	46	0.961	114	44	0.879	188	50	1.007	235	45
横浜北部	331	47	0.971	114	44	0.880	191	51	1.022	253	50
横浜西部	331	47	0.971	114	44	0.880	191	51	1.022	253	50
横浜南部	331	47	0.971	114	44	0.880	191	51	1.022	253	50
川崎北部	319	44	0.992	112	44	0.920	182	47	1.034	252	50
川崎南部	319	44	0.992	112	44	0.920	182	47	1.034	252	50
横須賀・三浦	347	51	0.974	116	45	0.854	205	59	1.048	240	46
湘南東部	318	44	0.926	107	42	0.821	185	48	0.982	206	37
湘南西部	328	47	0.933	120	46	0.894	184	48	0.952	213	39
県央	313	43	0.926	109	43	0.850	180	46	0.971	191	33
相模原	314	43	0.933	111	43	0.870	179	45	0.967	217	40
県西	350	51	0.987	129	49	0.957	195	53	1.001	218	40
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表14-35を参照。

資_図表 14-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
神奈川県	341	4.0%	3.7	43	6,648	6.6%	73	46
横浜北部	50	15%	3.2	42	1,242	19%	79	50
横浜西部	50	15%	4.5	45	826	12%	75	47
横浜南部	34	10%	3.2	42	878	13%	84	52
川崎北部	20	6%	2.4	40	518	8%	61	40
川崎南部	21	6%	3.3	42	449	7%	71	46
横須賀・三浦	30	9%	4.2	44	595	9%	83	52
湘南東部	23	7%	3.2	42	548	8%	77	49
湘南西部	22	6%	3.7	43	385	6%	66	43
県央	32	9%	3.8	43	528	8%	62	41
相模原	37	11%	5.1	46	415	6%	58	38
県西	22	6%	6.3	49	264	4%	76	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,995		79	(18.8)			73	(18.4)			6.3	(6.4)
神奈川県	6,648	6.6%	73	46	6,407	6.9%	70	48	241	3.0%	2.6	44
横浜北部	1,242	19%	79	50	1,193	19%	76	52	49	20%	3.1	45
横浜西部	826	12%	75	47	804	13%	73	50	22	9%	2.0	43
横浜南部	878	13%	84	52	854	13%	81	54	24	10%	2.3	44
川崎北部	518	8%	61	40	501	8%	59	43	17	7%	2.0	43
川崎南部	449	7%	71	46	431	7%	68	47	18	7%	2.8	45
横須賀・三浦	595	9%	83	52	562	9%	79	53	33	14%	4.6	47
湘南東部	548	8%	77	49	529	8%	74	51	19	8%	2.7	44
湘南西部	385	6%	66	43	372	6%	63	45	13	5%	2.2	44
県央	528	8%	62	41	505	8%	60	43	23	10%	2.7	44
相模原	415	6%	58	38	401	6%	56	40	14	6%	1.9	43
県西	264	4%	76	48	255	4%	73	50	9	4%	2.6	44
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 14-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,565,968		1,232	(497)			85	(101)			1,317	(557)
神奈川県	73,964	4.7%	810	42	2,726	2.5%	30	45	76,690	4.6%	840	41
横浜北部	8,968	12%	571	37	537	20%	34	45	9,505	12%	605	37
横浜西部	10,649	14%	964	45	195	7%	18	43	10,844	14%	981	44
横浜南部	8,079	11%	770	41	214	8%	20	44	8,293	11%	790	41
川崎北部	5,785	8%	686	39	193	7%	23	44	5,978	8%	709	39
川崎南部	5,053	7%	800	41	152	6%	24	44	5,205	7%	824	41
横須賀・三浦	6,148	8%	861	43	370	14%	52	47	6,518	8%	912	43
湘南東部	4,799	6%	675	39	239	9%	34	45	5,038	7%	708	39
湘南西部	6,262	8%	1,067	47	197	7%	34	45	6,459	8%	1,100	46
県央	6,267	8%	741	40	346	13%	41	46	6,613	9%	782	40
相模原	7,834	11%	1,087	47	184	7%	26	44	8,018	10%	1,112	46
県西	4,120	6%	1,187	49	99	4%	29	44	4,219	6%	1,215	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 14-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
神奈川県	46,279	5.2%	507	41	13,428	4.1%	147	45	14,022	4.2%	154	45
横浜北部	6,044	13%	385	36	1,920	14%	122	43	1,004	7%	64	41
横浜西部	6,007	13%	544	43	1,401	10%	127	44	3,215	23%	291	51
横浜南部	6,248	14%	595	45	600	4%	57	40	1,155	8%	110	43
川崎北部	3,332	7%	395	36	933	7%	111	43	1,520	11%	180	46
川崎南部	4,264	9%	675	49	499	4%	79	41	238	2%	38	40
横須賀・三浦	4,088	9%	572	44	1,134	8%	159	45	920	7%	129	44
湘南東部	2,901	6%	408	37	914	7%	129	44	978	7%	138	44
湘南西部	3,466	7%	590	45	1,228	9%	209	48	1,512	11%	258	50
県央	3,925	8%	464	39	935	7%	111	43	1,406	10%	166	45
相模原	3,938	9%	546	43	2,765	21%	384	56	1,125	8%	156	45
県西	2,066	4%	595	45	1,099	8%	317	53	949	7%	273	50
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 14-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
神奈川県	3,444	4.7%	38	46	2,169	3.5%	24	44
横浜北部	597	17%	38	46	402	19%	26	44
横浜西部	401	12%	36	45	239	11%	22	43
横浜南部	406	12%	39	46	323	15%	31	45
川崎北部	220	6%	26	43	86	4%	10	41
川崎南部	186	5%	29	44	192	9%	30	45
横須賀・三浦	256	7%	36	45	233	11%	33	45
湘南東部	189	5%	27	43	150	7%	21	43
湘南西部	333	10%	57	50	194	9%	33	45
県央	587	17%	69	52	169	8%	20	43
相模原	199	6%	28	44	140	6%	19	43
県西	70	2%	20	42	41	2%	12	42
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
神奈川県	26,232	23,255	669	47,890	23,134	13,196	50.1%	49	4.8%	48
横浜北部	2,111	1,713	96	6,868	4,345	1,812	28.3%	40	5.0%	48
横浜西部	2,932	2,473	0	7,740	3,614	1,344	40.6%	45	0.0%	46
横浜南部	5,550	4,891	94	2,500	1,394	500	77.8%	61	15.8%	53
川崎北部	2,004	1,832	120	3,831	1,500	974	55.0%	51	11.0%	51
川崎南部	1,844	1,754	0	3,209	2,510	499	41.1%	45	0.0%	46
横須賀・三浦	3,168	2,494	302	2,994	1,588	832	61.1%	54	26.6%	58
湘南東部	937	937	0	3,857	1,940	944	32.6%	42	0.0%	46
湘南西部	2,011	1,955	0	4,251	1,426	1,369	57.8%	52	0.0%	46
県央	1,272	1,271	0	5,003	2,662	1,115	32.3%	42	0.0%	46
相模原	2,796	2,733	57	5,068	1,235	2,708	68.9%	57	2.1%	47
県西	1,607	1,202	0	2,569	920	1,099	56.6%	52	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 14-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
神奈川県	195,624	6.9%	2,144	49	61,452	6.0%	673	45
横浜北部	28,992	15%	1,846	46	8,736	14%	556	41
横浜西部	21,192	11%	1,918	47	7,608	12%	688	46
横浜南部	28,428	15%	2,709	55	6,900	11%	657	45
川崎北部	14,592	7%	1,730	45	4,488	7%	532	40
川崎南部	20,004	10%	3,166	59	6,024	10%	953	55
横須賀・三浦	15,576	8%	2,180	50	3,924	6%	549	41
湘南東部	11,532	6%	1,622	44	5,040	8%	709	47
湘南西部	16,764	9%	2,856	56	4,692	8%	799	50
県央	15,420	8%	1,824	46	6,936	11%	820	51
相模原	16,584	8%	2,301	51	4,992	8%	693	46
県西	6,540	3%	1,884	47	2,112	3%	608	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 14-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
神奈川県	22,256	6.4%	244	47	13,155	6.1%	144	46	9,101	7.0%	100	49
横浜北部	3,371	15%	215	44	1,654	13%	105	40	1,717	19%	109	52
横浜西部	2,705	12%	245	47	1,592	12%	144	46	1,112	12%	101	49
横浜南部	3,320	15%	316	55	2,151	16%	205	56	1,169	13%	111	53
川崎北部	2,016	9%	239	46	1,291	10%	153	48	725	8%	86	45
川崎南部	1,815	8%	287	52	1,083	8%	171	50	732	8%	116	54
横須賀・三浦	1,826	8%	256	48	1,031	8%	144	46	795	9%	111	53
湘南東部	1,457	7%	205	42	703	5%	99	39	754	8%	106	51
湘南西部	1,617	7%	275	50	1,125	9%	192	53	492	5%	84	44
県央	1,554	7%	184	40	797	6%	94	39	756	8%	89	46
相模原	1,872	8%	260	49	1,337	10%	185	53	536	6%	74	41
県西	705	3%	203	42	393	3%	113	41	312	3%	90	46
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 14-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
神奈川県	1,022	6.5%	11.2	48	826	6.6%	9.1	48	702	6.7%	7.7	49
横浜北部	151	15%	9.6	46	140	17%	8.9	48	123	18%	7.8	49
横浜西部	131	13%	11.9	49	92	11%	8.3	47	81	12%	7.3	48
横浜南部	138	14%	13.1	51	153	19%	14.6	61	99	14%	9.4	53
川崎北部	89	9%	10.6	47	81	10%	9.6	49	59	8%	7.0	47
川崎南部	90	9%	14.2	53	58	7%	9.2	49	50	7%	7.9	49
横須賀・三浦	108	11%	15.1	54	48	6%	6.7	43	51	7%	7.1	47
湘南東部	74	7%	10.4	47	53	6%	7.5	45	41	6%	5.8	43
湘南西部	69	7%	11.8	49	56	7%	9.5	49	49	7%	8.3	50
県央	38	4%	4.5	38	54	7%	6.4	42	59	8%	7.0	47
相模原	106	10%	14.7	54	66	8%	9.2	48	70	10%	9.7	54
県西	28	3%	8.1	43	25	3%	7.2	44	20	3%	5.8	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
神奈川県	383	7.3%	4.2	50	598	6.4%	6.6	47	455	6.1%	5.0	47
横浜北部	74	19%	4.7	53	98	16%	6.2	46	79	17%	5.0	47
横浜西部	48	13%	4.3	51	60	10%	5.4	44	46	10%	4.2	43
横浜南部	63	16%	6.0	59	96	16%	9.1	56	69	15%	6.6	53
川崎北部	35	9%	4.1	50	46	8%	5.5	44	43	9%	5.1	47
川崎南部	22	6%	3.5	47	57	10%	9.0	55	43	9%	6.8	54
横須賀・三浦	36	9%	5.0	54	50	8%	7.0	49	36	8%	5.0	47
湘南東部	18	5%	2.5	42	50	8%	7.0	49	28	6%	3.9	42
湘南西部	21	5%	3.6	47	26	4%	4.4	40	38	8%	6.5	52
県央	26	7%	3.1	45	41	7%	4.8	42	26	6%	3.1	39
相模原	33	9%	4.6	52	58	10%	8.0	52	33	7%	4.6	45
県西	7	2%	2.0	40	16	3%	4.6	41	14	3%	4.0	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 14-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
神奈川県	559	6.7%	6.1	49	1,198	5.9%	13.1	46	953	6.2%	10.4	46
横浜北部	72	13%	4.6	44	149	12%	9.5	40	157	16%	10.0	45
横浜西部	93	17%	8.4	55	171	14%	15.5	49	100	10%	9.0	43
横浜南部	97	17%	9.2	58	176	15%	16.8	51	133	14%	12.7	51
川崎北部	48	9%	5.7	48	103	9%	12.2	44	73	8%	8.7	42
川崎南部	28	5%	4.4	44	109	9%	17.3	52	89	9%	14.1	55
横須賀・三浦	46	8%	6.4	50	80	7%	11.2	43	94	10%	13.2	52
湘南東部	48	9%	6.7	51	67	6%	9.4	40	53	6%	7.5	40
湘南西部	41	7%	7.0	51	99	8%	16.9	51	72	8%	12.3	50
県央	38	7%	4.5	44	78	7%	9.2	40	67	7%	7.9	41
相模原	29	5%	4.0	43	125	10%	17.3	52	82	9%	11.4	48
県西	19	3%	5.5	47	41	3%	11.8	44	33	3%	9.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 14-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
神奈川県	361	6.3%	4.0	47	352	5.5%	3.9	45	311	5.9%	3.4	47
横浜北部	49	14%	3.1	43	53	15%	3.4	43	38	12%	2.4	44
横浜西部	39	11%	3.5	45	48	14%	4.3	47	49	16%	4.4	51
横浜南部	64	18%	6.1	58	55	16%	5.2	51	36	12%	3.4	47
川崎北部	26	7%	3.1	43	30	9%	3.6	44	33	11%	3.9	49
川崎南部	30	8%	4.7	51	28	8%	4.4	47	40	13%	6.3	57
横須賀・三浦	25	7%	3.5	45	28	8%	3.9	45	25	8%	3.5	48
湘南東部	25	7%	3.5	45	18	5%	2.5	39	17	5%	2.4	44
湘南西部	27	7%	4.6	51	27	8%	4.6	48	27	9%	4.6	51
県央	31	9%	3.7	46	26	7%	3.1	42	11	4%	1.3	40
相模原	35	10%	4.9	52	27	8%	3.7	45	31	10%	4.3	50
県西	10	3%	2.9	42	12	3%	3.5	43	4	1%	1.2	40
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 14-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
神奈川県	421	6.4%	4.6	48	100	6.5%	1.1	49	282	8.6%	3.1	53
横浜北部	45	11%	2.9	42	8	8%	0.5	42	37	13%	2.4	49
横浜西部	70	17%	6.3	54	11	11%	1.0	48	28	10%	2.5	50
横浜南部	102	24%	9.7	65	20	20%	1.9	58	42	15%	4.0	58
川崎北部	21	5%	2.5	41	10	10%	1.2	50	18	6%	2.1	47
川崎南部	26	6%	4.1	47	9	9%	1.4	52	35	12%	5.5	67
横須賀・三浦	34	8%	4.8	49	6	6%	0.8	46	24	9%	3.4	55
湘南東部	26	6%	3.7	45	5	5%	0.7	44	27	10%	3.8	57
湘南西部	26	6%	4.4	48	12	12%	2.0	59	29	10%	4.9	64
県央	28	7%	3.3	44	6	6%	0.7	44	15	5%	1.8	45
相模原	34	8%	4.7	49	12	12%	1.7	55	22	8%	3.1	53
県西	9	2%	2.6	41	1	1%	0.3	40	5	2%	1.4	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
神奈川県	148	7.5%	1.6	51	144	6.1%	1.6	48
横浜北部	22	15%	1.4	49	36	25%	2.3	53
横浜西部	21	14%	1.9	53	8	6%	0.7	41
横浜南部	25	17%	2.4	57	26	18%	2.5	55
川崎北部	11	7%	1.3	48	15	10%	1.8	49
川崎南部	12	8%	1.9	53	6	4%	0.9	43
横須賀・三浦	15	10%	2.1	55	11	8%	1.5	48
湘南東部	9	6%	1.3	47	12	8%	1.7	49
湘南西部	6	4%	1.0	45	10	7%	1.7	49
県央	8	5%	0.9	45	9	6%	1.1	44
相模原	14	9%	1.9	53	5	3%	0.7	41
県西	5	3%	1.4	49	6	4%	1.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 14-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
神奈川県	54,128	4.9%	593	40	45,811	5.0%	502	41	8,317	4.2%	91	41
横浜北部	7,124	13%	454	35	5,836	13%	372	35	1,288	15%	82	40
横浜西部	7,374	14%	667	43	6,255	14%	566	44	1,119	13%	101	43
横浜南部	7,363	14%	702	44	6,399	14%	610	45	964	12%	92	41
川崎北部	3,853	7%	457	35	3,260	7%	387	36	593	7%	70	38
川崎南部	4,555	8%	721	45	3,887	8%	615	46	668	8%	106	43
横須賀・三浦	4,282	8%	599	40	3,519	8%	493	40	763	9%	107	43
湘南東部	3,539	7%	498	37	2,857	6%	402	37	682	8%	96	42
湘南西部	4,434	8%	755	46	3,920	9%	668	48	514	6%	88	41
県央	4,268	8%	505	37	3,383	7%	400	37	885	11%	105	43
相模原	5,086	9%	706	44	4,531	10%	629	46	555	7%	77	39
県西	2,250	4%	648	42	1,964	4%	566	44	286	3%	82	40
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 14-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
神奈川県	5,409	4.3%	59	43	21,541	7.5%	236	51
横浜北部	841	16%	54	41	4,457	21%	284	56
横浜西部	756	14%	68	44	2,601	12%	235	51
横浜南部	606	11%	58	42	2,565	12%	244	52
川崎北部	347	6%	41	39	1,756	8%	208	48
川崎南部	324	6%	51	41	1,500	7%	237	51
横須賀・三浦	505	9%	71	45	1,570	7%	220	49
湘南東部	349	6%	49	41	1,724	8%	242	52
湘南西部	498	9%	85	47	1,325	6%	226	50
県央	568	11%	67	44	1,624	8%	192	46
相模原	446	8%	62	43	1,535	7%	213	48
県西	168	3%	49	41	884	4%	255	53
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 14-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
神奈川県	837	6.3%	0.9	51	61	5.0%	0.1	48	640	6.1%	0.7	50
横浜北部	160	19%	1.1	57	9	15%	0.1	48	120	19%	0.8	60
横浜西部	90	11%	0.7	46	13	21%	0.1	53	101	16%	0.7	55
横浜南部	79	9%	0.6	45	8	13%	0.1	48	79	12%	0.6	49
川崎北部	64	8%	0.9	51	2	3%	0.0	42	46	7%	0.6	49
川崎南部	58	7%	1.0	55	3	5%	0.1	47	28	4%	0.5	43
横須賀・三浦	92	11%	0.9	51	6	10%	0.1	47	58	9%	0.5	45
湘南東部	90	11%	1.2	58	6	10%	0.1	50	43	7%	0.6	45
湘南西部	65	8%	1.0	53	1	2%	0.0	40	45	7%	0.7	51
県央	55	7%	0.7	47	5	8%	0.1	48	55	9%	0.7	51
相模原	43	5%	0.6	45	5	8%	0.1	49	38	6%	0.5	44
県西	41	5%	0.9	51	3	5%	0.1	48	27	4%	0.6	46
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
神奈川県	115,066	6.9%	117	58	56,017	5.6%	57	46	59,049	8.7%	60	61
横浜北部	17,953	16%	127	64	8,988	16%	64	52	8,965	15%	63	63
横浜西部	18,616	16%	138	70	10,559	19%	78	63	8,057	14%	60	61
横浜南部	9,743	8%	77	34	5,263	9%	42	34	4,480	8%	36	46
川崎北部	12,462	11%	171	90	4,369	8%	60	49	8,093	14%	111	93
川崎南部	5,326	5%	96	45	2,195	4%	40	32	3,131	5%	56	59
横須賀・三浦	10,531	9%	100	48	5,168	9%	49	40	5,363	9%	51	55
湘南東部	7,953	7%	102	49	3,478	6%	45	36	4,475	8%	57	60
湘南西部	7,862	7%	117	58	3,491	6%	52	42	4,371	7%	65	65
県央	8,927	8%	109	53	4,606	8%	56	46	4,321	7%	53	57
相模原	9,254	8%	127	64	5,095	9%	70	57	4,159	7%	57	59
県西	6,439	6%	134	68	2,805	5%	58	47	3,634	6%	75	71
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 14-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
神奈川県	19,981	5.5%	20	46	34,128	6.1%	35	50	1,908	3.0%	1.9	45
横浜北部	3,360	17%	24	52	5,338	16%	38	53	290	15%	2.1	45
横浜西部	4,112	21%	30	63	6,303	18%	47	62	144	8%	1.1	43
横浜南部	2,177	11%	17	41	3,086	9%	24	39	0	0%	0	40
川崎北部	1,539	8%	21	47	2,575	8%	35	50	255	13%	3.5	49
川崎南部	622	3%	11	30	1,525	4%	27	42	48	3%	0.9	42
横須賀・三浦	1,833	9%	17	41	3,272	10%	31	46	63	3%	0.6	42
湘南東部	1,316	7%	17	40	2,042	6%	26	41	120	6%	1.5	44
湘南西部	1,208	6%	18	42	2,196	6%	33	48	87	5%	1.3	43
県央	1,605	8%	20	45	2,957	9%	36	51	44	2%	0.5	42
相模原	1,231	6%	17	40	3,133	9%	43	58	731	38%	10.1	65
県西	978	5%	20	46	1,701	5%	35	50	126	7%	2.6	47
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り	
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
神奈川県	33,931	14.7%	34.5	69	769	3.3%	0.8	47	11,812	6.0%	12.0	50
横浜北部	4,880	14%	34.6	69	100	13%	0.7	47	1,941	16%	13.7	53
横浜西部	4,354	13%	32.2	67	190	25%	1.4	50	2,172	18%	16.1	57
横浜南部	2,865	8%	22.7	58	0	0%	0	43	967	8%	7.7	42
川崎北部	5,719	17%	78.4	109	214	28%	2.9	57	1,079	9%	14.8	55
川崎南部	1,602	5%	28.8	63	0	0%	0	43	794	7%	14.3	54
横須賀・三浦	3,620	11%	34.3	68	0	0%	0	43	1,113	9%	10.5	47
湘南東部	2,226	7%	28.6	63	0	0%	0	43	699	6%	9.0	45
湘南西部	2,575	8%	38.5	72	225	29%	3.4	59	630	5%	9.4	45
県央	2,057	6%	25.2	60	0	0%	0	43	750	6%	9.2	45
相模原	2,006	6%	27.6	62	40	5%	0.6	46	1,094	9%	15.0	55
県西	2,027	6%	42.1	76	0	0%	0	43	573	5%	11.9	50
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り			シェア	1,000人 当り	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
神奈川県	12,537	5.4%	12.7	48	1,328	8.6%	1.3	52	11,209	5.2%	11.4	47
横浜北部	2,044	16%	14.5	50	0	0%	0	44	2,044	18%	14.5	51
横浜西部	1,341	11%	9.9	44	157	12%	1.2	51	1,184	11%	8.8	43
横浜南部	648	5%	5.1	37	30	2%	0.2	46	618	6%	4.9	37
川崎北部	1,081	9%	14.8	51	75	6%	1.0	50	1,006	9%	13.8	50
川崎南部	735	6%	13.2	48	70	5%	1.3	52	665	6%	12.0	48
横須賀・三浦	630	5%	6.0	38	33	2%	0.3	46	597	5%	5.7	38
湘南東部	1,550	12%	19.9	58	48	4%	0.6	48	1,502	13%	19.3	59
湘南西部	941	8%	14.1	49	119	9%	1.8	55	822	7%	12.3	48
県央	1,514	12%	18.6	56	218	16%	2.7	60	1,296	12%	15.9	54
相模原	1,019	8%	14.0	49	182	14%	2.5	59	837	7%	11.5	47
県西	1,034	8%	21.5	60	396	30%	8.2	93	638	6%	13.2	50
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
神奈川県	9,240	5.6%	9.4	46	6,423	5.4%	6.5	46	2,817	6.1%	2.9	50
横浜北部	1,481	16%	10.5	51	975	15%	6.9	48	507	18%	3.6	58
横浜西部	1,467	16%	10.8	53	1,003	16%	7.4	50	464	16%	3.4	56
横浜南部	900	10%	7.1	37	534	8%	4.2	35	366	13%	2.9	50
川崎北部	938	10%	12.9	61	736	11%	10.1	63	202	7%	2.8	49
川崎南部	420	5%	7.6	38	274	4%	4.9	38	146	5%	2.6	48
横須賀・三浦	783	8%	7.4	38	548	9%	5.2	39	235	8%	2.2	43
湘南東部	662	7%	8.5	43	466	7%	6.0	43	197	7%	2.5	46
湘南西部	667	7%	10.0	49	441	7%	6.6	46	226	8%	3.4	55
県央	684	7%	8.4	42	469	7%	5.8	42	215	8%	2.6	48
相模原	784	8%	10.8	52	638	10%	8.8	57	147	5%	2.0	41
県西	452	5%	9.4	46	340	5%	7.1	48	112	4%	2.3	44
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
神奈川県	88,076	6.0%	90	49	74,870	6.1%	76	50	13,206	5.9%	13.4	49
横浜北部	14,716	17%	104	61	12,446	17%	88	60	2,270	17%	16.1	54
横浜西部	14,104	16%	104	61	12,553	17%	93	64	1,550	12%	11.5	46
横浜南部	9,258	11%	73	36	7,285	10%	58	34	1,973	15%	15.6	53
川崎北部	7,498	9%	103	60	6,483	9%	89	61	1,015	8%	13.9	50
川崎南部	4,524	5%	81	43	3,529	5%	64	39	995	8%	17.9	57
横須賀・三浦	8,517	10%	81	42	7,172	10%	68	43	1,345	10%	12.7	48
湘南東部	6,105	7%	78	40	5,073	7%	65	40	1,032	8%	13.3	49
湘南西部	5,502	6%	82	43	4,786	6%	72	46	716	5%	10.7	44
県央	6,897	8%	85	45	5,914	8%	73	47	983	7%	12.1	47
相模原	6,935	8%	95	54	6,026	8%	83	56	909	7%	12.5	48
県西	4,020	5%	83	44	3,603	5%	75	49	417	3%	8.7	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 14-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
神奈川県	94,813	8.8%	96	59	36,803	8.2%	37	58	91,975	6.2%	93	51
横浜北部	18,904	20%	134	71	6,709	18%	48	66	15,505	17%	110	56
横浜西部	8,254	9%	61	48	5,588	15%	41	61	11,604	13%	86	48
横浜南部	8,203	9%	65	50	5,399	15%	43	62	14,249	15%	113	57
川崎北部	9,406	10%	129	70	3,713	10%	51	69	7,275	8%	100	52
川崎南部	6,693	7%	120	67	1,766	5%	32	53	6,442	7%	116	58
横須賀・三浦	11,137	12%	105	62	2,771	8%	26	49	8,778	10%	83	47
湘南東部	9,612	10%	123	68	2,690	7%	35	56	7,525	8%	97	52
湘南西部	5,571	6%	83	55	2,523	7%	38	58	4,927	5%	74	44
県央	8,664	9%	106	63	2,494	7%	31	52	6,655	7%	82	47
相模原	4,849	5%	67	50	1,967	5%	27	49	6,366	7%	88	49
県西	3,520	4%	73	52	1,183	3%	25	47	2,649	3%	55	39

出典 平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 14-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
神奈川県		8,791,597	9,126,214	4%	9,009,667	2%	19%	10%	31%
横浜北部	大都市型	1,442,557	1,570,303	9%	1,608,309	11%	22%	15%	41%
横浜西部	大都市型	1,080,260	1,105,037	2%	1,088,394	1%	19%	10%	30%
横浜南部	大都市型	1,056,811	1,049,504	-1%	1,017,084	-4%	15%	9%	26%
川崎北部	大都市型	768,177	843,416	10%	878,812	14%	21%	19%	44%
川崎南部	大都市型	558,834	631,797	13%	623,803	12%	19%	6%	27%
横須賀・三浦	大都市型	736,761	714,415	-3%	666,951	-9%	12%	1%	13%
湘南東部	大都市型	671,891	711,178	6%	695,166	3%	22%	6%	30%
湘南西部	大都市型	590,691	587,047	-1%	571,974	-3%	17%	10%	28%
県央	大都市型	822,880	845,580	3%	823,140	0%	22%	9%	33%
相模原	大都市型	701,630	720,780	3%	711,310	1%	22%	12%	36%
県西	地方都市型	361,105	347,157	-4%	324,724	-10%	12%	3%	15%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
神奈川県	357	4.1	42	342	3.7	43	-15	-4%	327
横浜北部	52	3.6	41	50	3.2	42	-2	-4%	48
横浜西部	51	4.7	44	50	4.5	45	-1	-2%	49
横浜南部	38	3.6	41	34	3.2	42	-4	-11%	30
川崎北部	18	2.3	38	20	2.4	40	2	11%	22
川崎南部	26	4.7	44	21	3.3	42	-5	-19%	16
横須賀・三浦	32	4.3	43	31	4.3	44	-1	-3%	30
湘南東部	23	3.4	40	22	3.1	41	-1	-4%	21
湘南西部	21	3.6	41	22	3.7	43	1	5%	23
県央	36	4.4	43	32	3.8	43	-4	-11%	28
相模原	35	5.0	45	37	5.1	46	2	6%	39
県西	25	6.9	50	23	6.6	50	-2	-8%	21
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 14-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
神奈川県	5,977	68	46	6,556	72	46	579	10%	7,193
横浜北部	1,044	72	48	1,223	78	49	179	17%	1,420
横浜西部	728	67	46	822	74	48	94	13%	925
横浜南部	831	79	51	870	83	52	39	5%	913
川崎北部	419	55	39	501	59	39	82	20%	591
川崎南部	442	79	52	438	69	45	-4	-1%	434
横須賀・三浦	575	78	51	588	82	52	13	2%	602
湘南東部	496	74	49	539	76	48	43	9%	586
湘南西部	358	61	42	387	66	43	29	8%	419
県央	473	57	41	523	62	41	50	11%	578
相模原	360	51	38	407	56	38	47	13%	459
県西	251	70	47	258	74	47	7	3%	266
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 14-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
神奈川県	15,209	173	45	19,036	209	46	3,827	25%	23,246
横浜北部	2,076	144	42	2,783	177	43	707	34%	3,561
横浜西部	1,760	163	44	2,230	202	45	470	27%	2,747
横浜南部	2,337	221	51	3,131	298	56	794	34%	4,004
川崎北部	1,193	155	43	1,664	197	45	471	39%	2,182
川崎南部	1,277	229	52	1,526	242	50	249	19%	1,800
横須賀・三浦	1,271	173	45	1,556	218	47	285	22%	1,870
湘南東部	954	142	42	1,214	171	42	260	27%	1,500
湘南西部	1,307	221	51	1,413	241	50	106	8%	1,530
県央	976	119	39	1,149	136	38	173	18%	1,339
相模原	1,507	215	50	1,760	244	50	253	17%	2,038
県西	551	153	43	610	176	43	59	11%	675
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 14-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
神奈川県	80,171	91	41	76,845	84	41	-3,326	-4%	73,187
横浜北部	9,216	64	36	9,503	61	37	287	3%	9,819
横浜西部	10,980	102	43	10,898	99	44	-82	-1%	10,808
横浜南部	9,274	88	40	8,312	79	41	-962	-10%	7,254
川崎北部	5,029	65	36	5,992	71	39	963	19%	7,051
川崎南部	5,879	105	43	5,187	82	41	-692	-12%	4,426
横須賀・三浦	7,097	96	42	6,673	93	43	-424	-6%	6,207
湘南東部	4,821	72	37	4,895	69	39	74	2%	4,976
湘南西部	7,430	126	47	6,479	110	46	-951	-13%	5,433
県央	7,409	90	41	6,643	79	40	-766	-10%	5,800
相模原	8,304	118	46	8,022	111	46	-282	-3%	7,712
県西	4,732	131	48	4,241	122	48	-491	-10%	3,701
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

14.神奈川県(2017年版)

資_図表 14-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
神奈川県	52,665	60	42	48,842	54	41	-3,823	-7%	44,637	50
横浜北部	6,620	46	37	6,526	42	36	-94	-1%	6,423	40
横浜西部	6,654	62	42	6,275	57	42	-379	-6%	5,858	54
横浜南部	7,247	69	45	6,468	62	44	-779	-11%	5,611	55
川崎北部	3,174	41	35	3,539	42	37	365	11%	3,941	45
川崎南部	5,034	90	52	4,398	70	47	-636	-13%	3,698	59
横須賀・三浦	4,954	67	44	4,480	63	44	-474	-10%	3,959	59
湘南東部	2,894	43	36	2,965	42	37	71	2%	3,043	44
湘南西部	4,159	70	45	3,679	63	44	-480	-12%	3,151	55
県央	5,171	63	43	4,238	50	40	-933	-18%	3,212	39
相模原	4,175	60	41	4,107	57	42	-68	-2%	4,032	57
県西	2,583	72	46	2,167	62	44	-416	-16%	1,709	53
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 14-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
神奈川県	12,221	20	43	13,613	14	44	1,392	11%	15,144	10
横浜北部	1,680	20	43	1,965	14	44	285	17%	2,279	10
横浜西部	1,099	14	40	1,382	10	41	283	26%	1,693	8
横浜南部	356	4	34	548	4	36	192	54%	759	4
川崎北部	569	14	40	933	13	43	364	64%	1,333	11
川崎南部	474	12	39	499	9	40	25	5%	527	7
横須賀・三浦	998	14	40	1,233	12	42	235	24%	1,492	11
湘南東部	952	21	43	946	12	42	-6	-1%	939	8
湘南西部	1,348	32	50	1,232	18	48	-116	-9%	1,104	11
県央	651	15	40	972	12	42	321	49%	1,325	10
相模原	2,923	74	73	2,784	38	65	-139	-5%	2,631	22
県西	1,171	36	52	1,119	23	52	-52	-4%	1,062	17
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

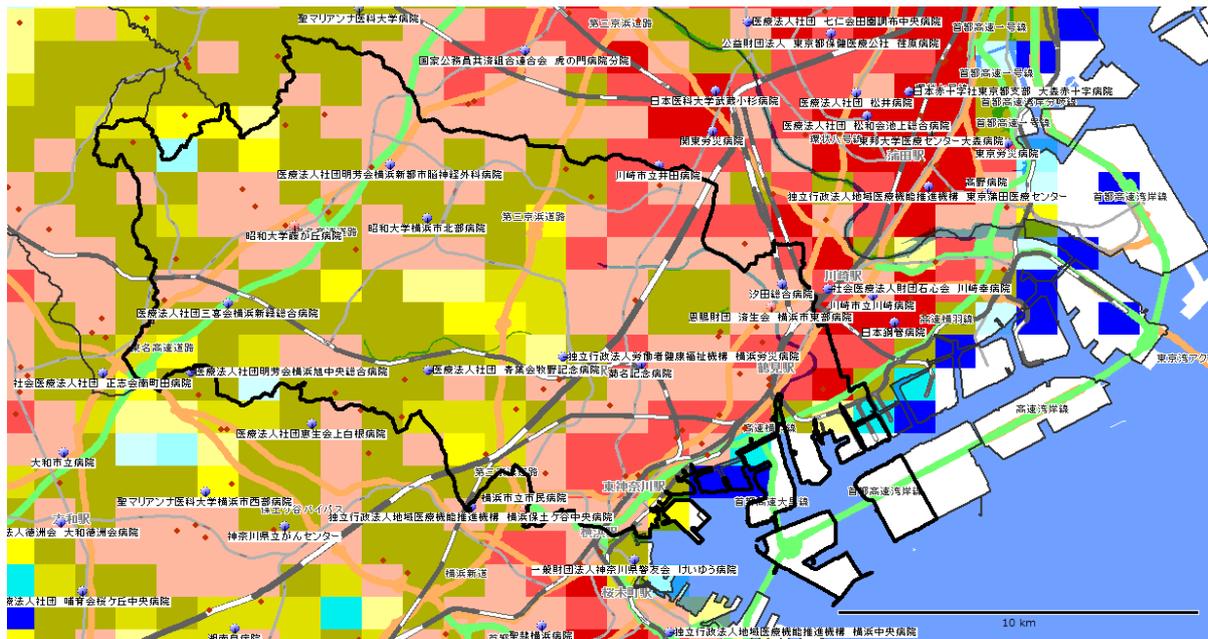
資_図表 14-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
神奈川県	858	44	0.947	376	42	0.853	444	51	1.030
横浜北部	875	45	0.964	378	42	0.856	457	54	1.058
横浜西部	875	45	0.964	378	42	0.856	457	54	1.058
横浜南部	875	45	0.964	378	42	0.856	457	54	1.058
川崎北部	932	50	1.033	418	46	0.950	475	58	1.108
川崎南部	932	50	1.033	418	46	0.950	475	58	1.108
横須賀・三浦	843	43	0.924	353	39	0.788	454	53	1.052
湘南東部	828	41	0.918	356	40	0.811	435	48	1.013
湘南西部	845	43	0.930	401	44	0.905	411	43	0.950
県央	785	38	0.884	347	39	0.814	403	41	0.941
相模原	806	40	0.903	357	40	0.830	411	43	0.956
県西	831	42	0.915	381	42	0.857	417	44	0.969
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

よこはまほくぶ 14-1. 横浜北部医療圏

構成市区町村⁹ [鶴見区](#) [青葉区](#) [神奈川区](#) [都筑区](#) [港北区](#) [緑区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(横浜北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横浜北部(横浜市鶴見区)は、総人口約1570千人(2015年)、面積177km²、人口密度は8874人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横浜北部の総人口は2025年に1608千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1576千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の141千人が、2025年にかけて228千人へと増加し(2015年比+62%)、2040年には284千人へと増加する(2025年比+25%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横浜北部の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値47)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横浜北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.73、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.49で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が44(病院医師数40、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は35と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。横浜北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の昭和大学横浜市北部病院(Ⅱ群)、横浜労災病院(Ⅱ群・救命)、昭和大学藤が丘病院(Ⅱ群・救命)、済生会横浜市東部病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の横浜新都市脳神経外科病院(Ⅲ群)、菊名記念病院(Ⅲ群)、500例以上の横浜新緑総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横浜北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17953人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8988床(偏差値52)、高齢者住宅等が8965床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12446人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム69、軽費ホーム47、グループホーム53、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、2270人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横浜北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

横浜北部医療圏の総人口は、2005年1442557人が、2015年に1570303人と9%増加し、2025年の人口が1608309人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて15%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

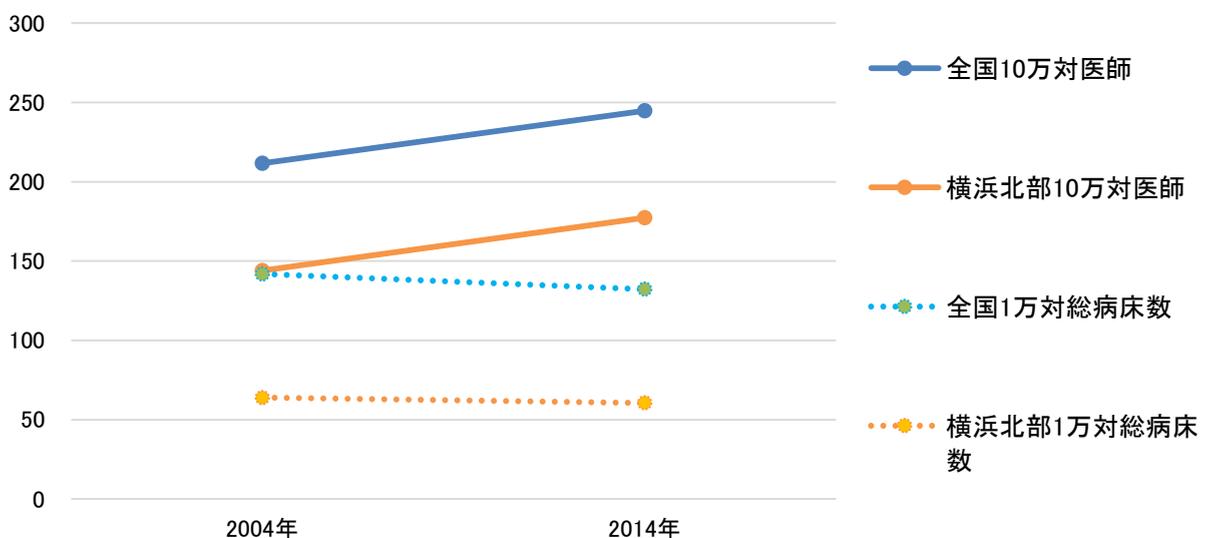
2004年の病院数が52(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に50(人口10万人当たり3.2病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が1044(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に1223(人口10万人当たり78診療所(全国平均79)偏差値49)と、179診療所が増加した。

2004年の総病床数が9216床(人口1万人当たり64(全国平均142)偏差値36)であったが、2014年に9503床(人口1万人当たり61(全国平均132)偏差値37)と、287床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

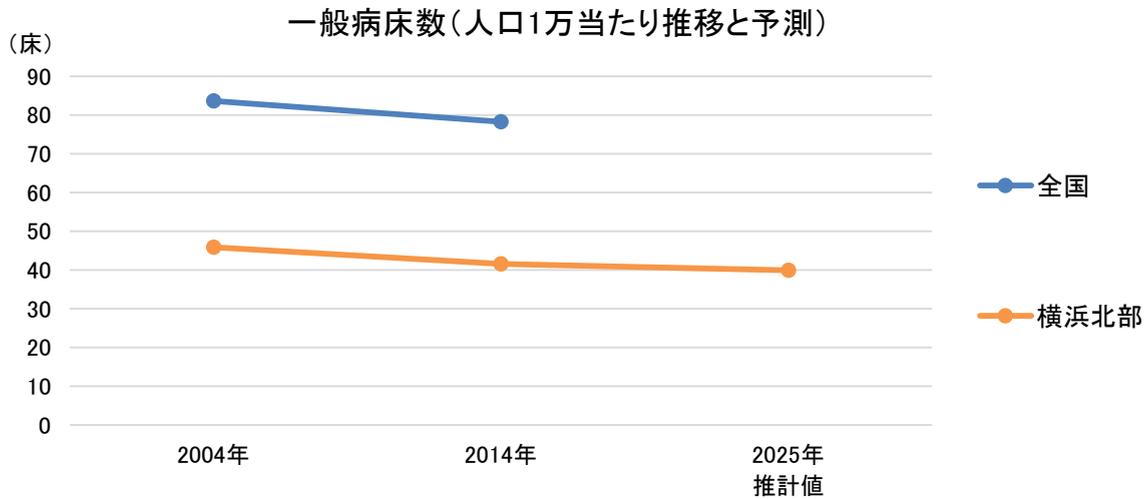
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2076人(人口10万人当たり144人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に2783人(人口10万人当たり177人(全国平均245人)偏差値43)と、707人の増加、率にして34%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



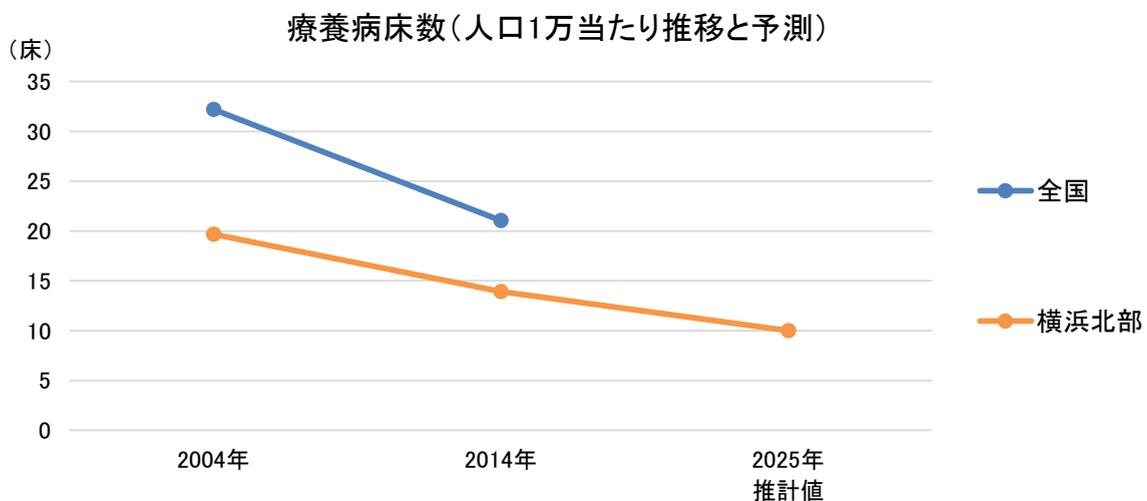
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6620床(人口1万人当たり46(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に6526床(人口1万人当たり42(全国平均78)偏差値36)と、94床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6423床(2025年の推計人口1万人当たり40)になることが予想される。



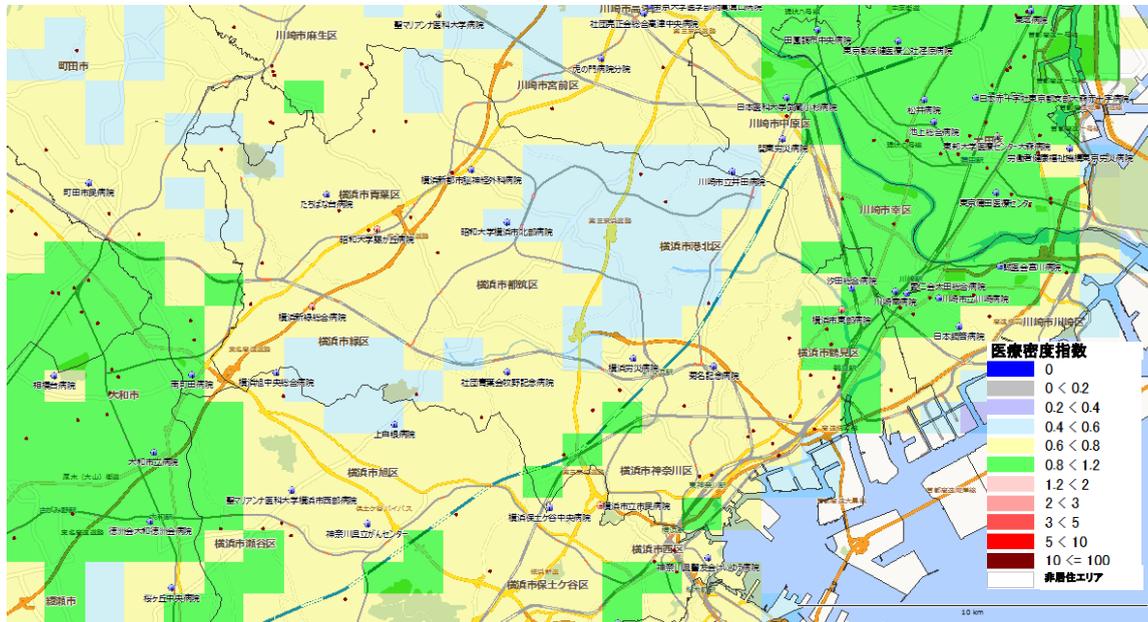
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1680床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に1965床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、285床の増加、率にして17%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2279床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



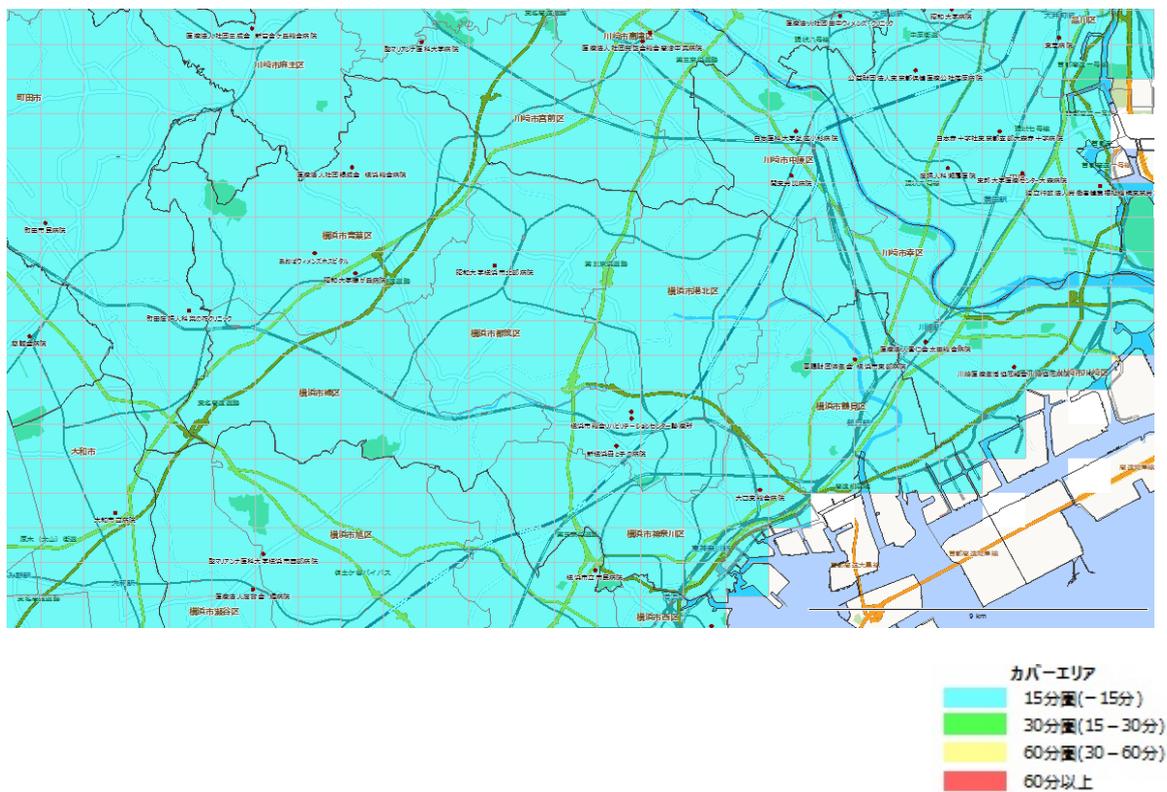
(横浜北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

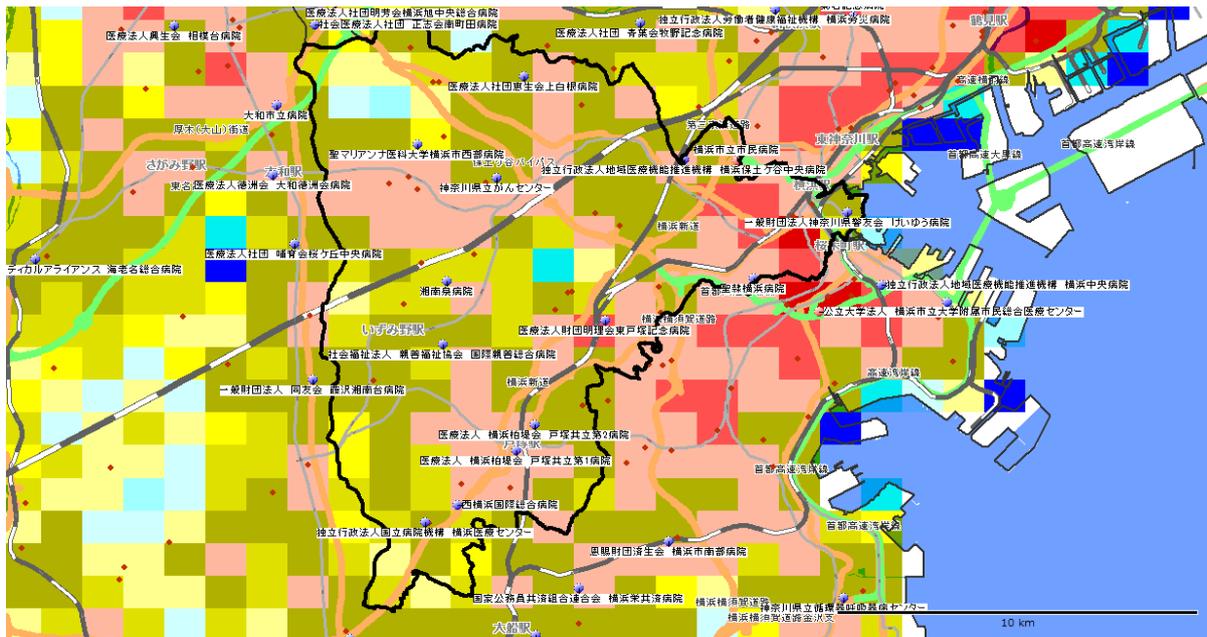
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



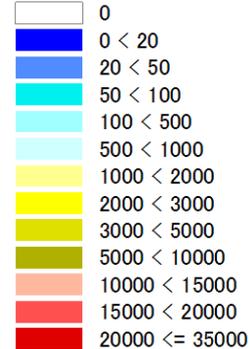
14-2. よこはませいぶ 横浜西部医療圏

構成市区町村⁹ [西区](#) [保土ヶ谷区](#) [戸塚区](#) [旭区](#)
[瀬谷区](#) [泉区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群
- 一般病院

(横浜西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横浜西部(横浜市西区)は、総人口約1105千人(2015年)、面積138km²、人口密度は7994人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横浜西部の総人口は2025年に1088千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に992千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の135千人が、2025年にかけて201千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には209千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横浜西部の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値47)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横浜西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.25で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は43と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。横浜西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構横浜医療センター(Ⅲ群・救命)、神奈川県立がんセンター(Ⅲ群)、けいゆう病院(Ⅲ群)、横浜市立市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の国際親善総合病院(Ⅲ群)、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(Ⅲ群・救命)、横浜旭中央総合病院(Ⅲ群)、東戸塚記念病院(Ⅲ群)、JCHO横浜保土ヶ谷中央病院(Ⅲ群)、500例以上の上白根病院(Ⅲ群)、西横浜国際総合病院(Ⅲ群)、戸塚共立第2病院(Ⅲ群)、戸塚共立第1病院(Ⅲ群)、聖隷横浜病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横浜西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18616人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が10559床(偏差値63)、高齢者住宅等が8057床(偏差値61)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12553人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム67、軽費ホーム50、グループホーム57、サ高住44である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1550人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(横浜西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

横浜西部医療圏の総人口は、2005年1080260人が、2015年に1105037人と2%増加し、2025年の人口が1088394人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

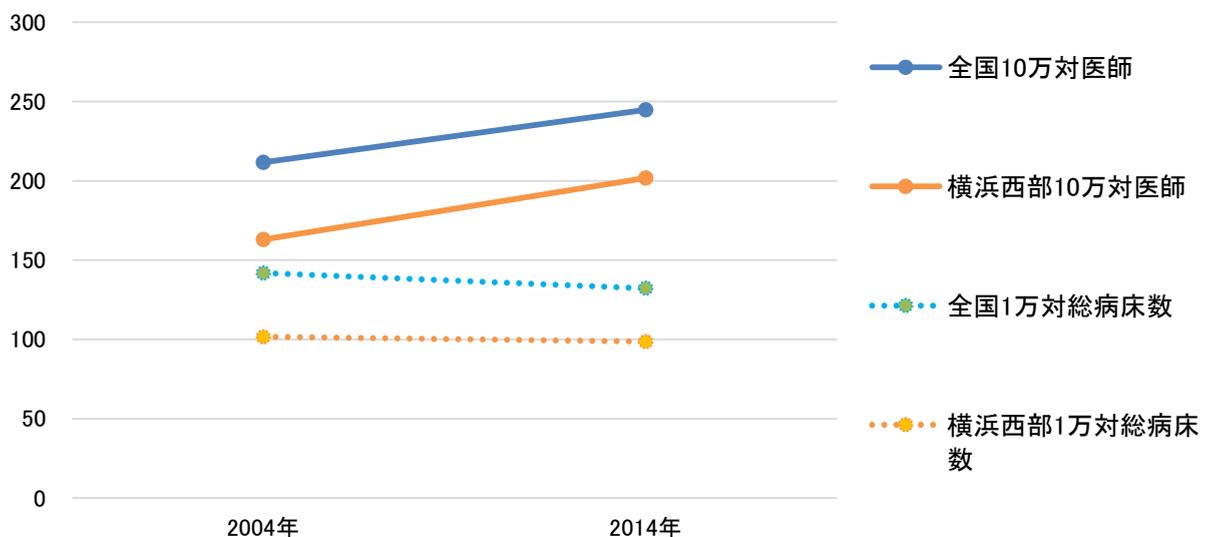
2004年の病院数が51(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に50(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が728(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に822(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値48)と、94診療所が増加した。

2004年の総病床数が10980床(人口1万人当たり102(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に10898床(人口1万人当たり99(全国平均132)偏差値44)と、82床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

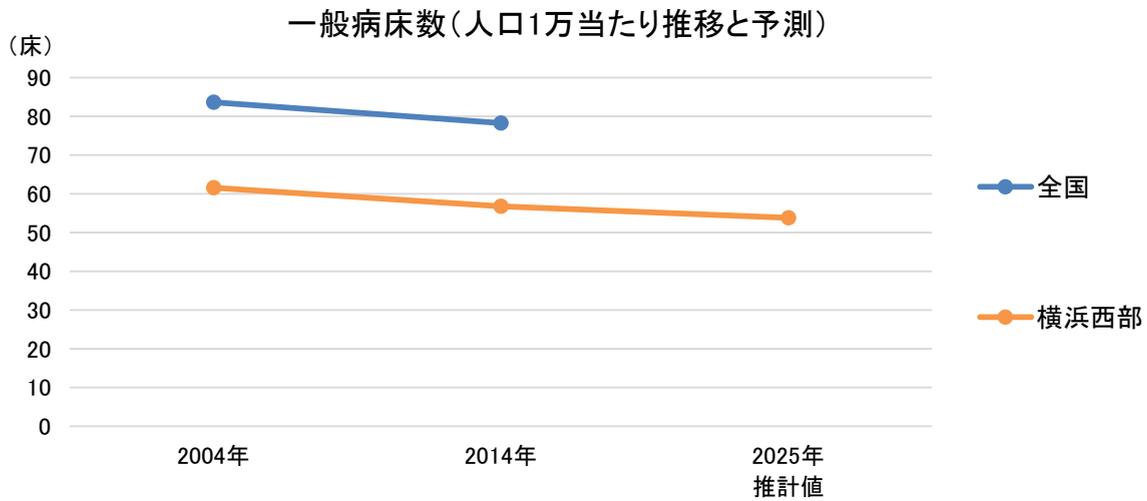
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1760人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に2230人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、470人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



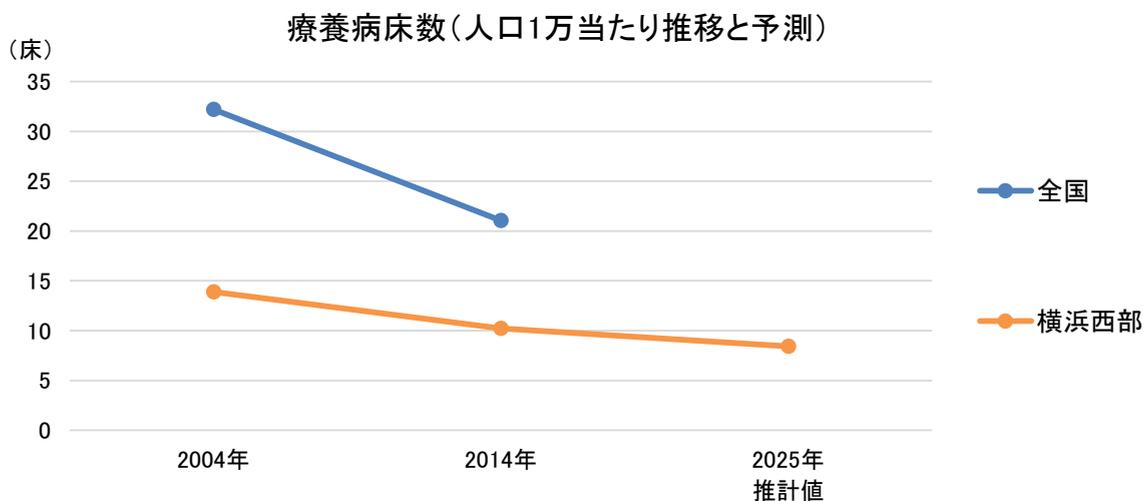
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6654床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に6275床(人口1万人当たり57(全国平均78)偏差値42)と、379床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5858床(2025年の推計人口1万人当たり54)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1099床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に1382床(75歳以上1000人当たり10(全国平均21)偏差値41)と、283床の増加、率にして26%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1693床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



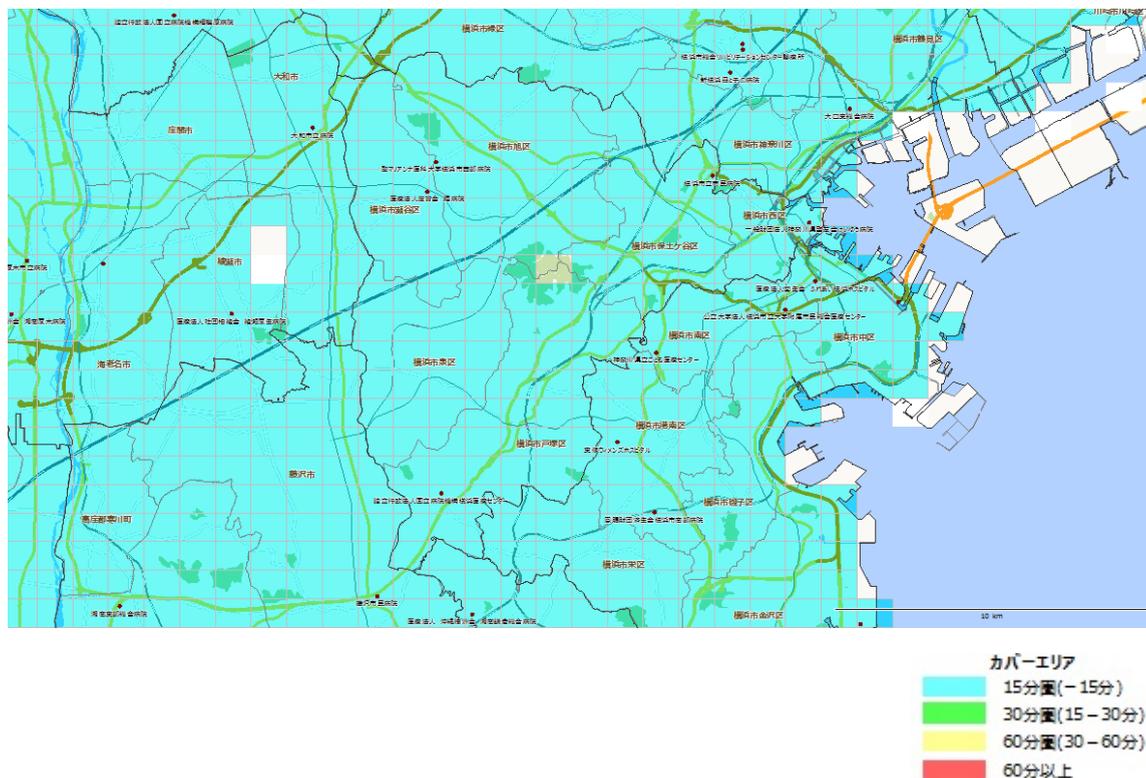
(横浜西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

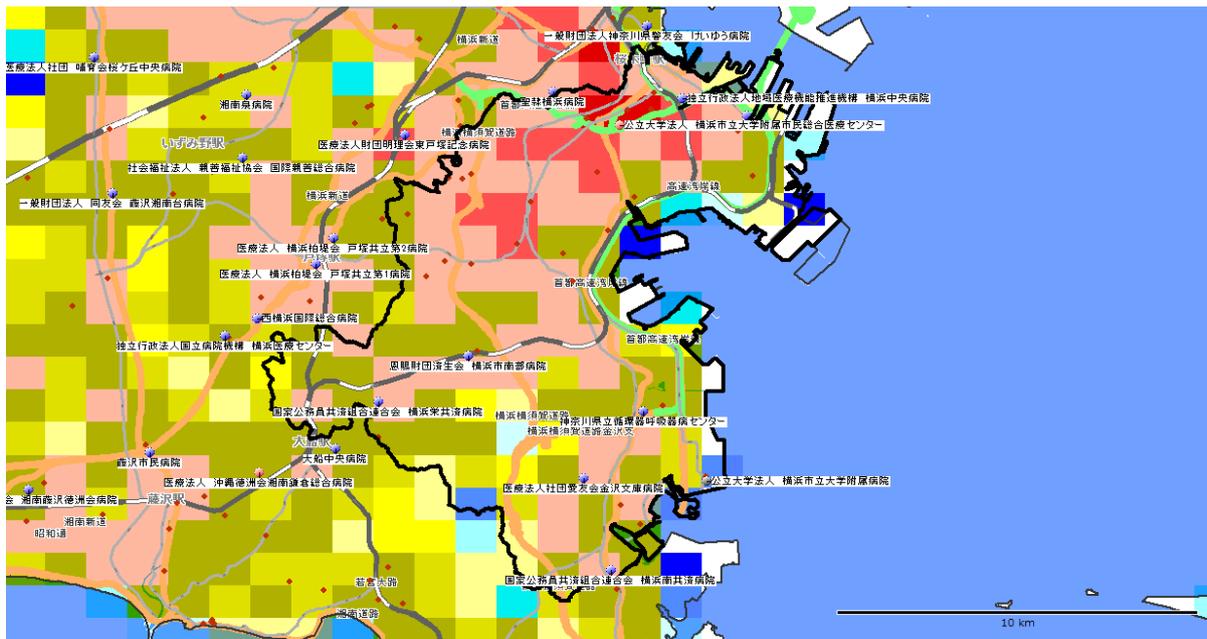
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



14-3. よこはまなんぶ 横浜南部医療圏

構成市区町村⁹ [中区](#) [南区](#) [磯子区](#) [金沢区](#)
[港南区](#) [栄区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(横浜南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横浜南部(横浜市中区)は、総人口約1050千人(2015年)、面積122km²、人口密度は8583人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横浜南部の総人口は2025年に1017千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に899千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の126千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+52%)、2040年には193千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横浜南部の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値47)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横浜南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.37で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が55(病院医師数56、診療所医師数53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。横浜南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の横浜市立みなと赤十字病院(Ⅱ群・救命)、済生会横浜市南部病院(Ⅲ群)、横浜南共済病院(Ⅱ群・救命)、神奈川県立こども医療センター(Ⅲ群)、横浜市立大学附属病院(Ⅰ群)、横浜市立大学附属市民総合医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の横浜栄共済病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO横浜中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横浜南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9743人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5263床(偏差値34)、高齢者住宅等が4480床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7285人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム58、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1973人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-70%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横浜南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

横浜南部医療圏の総人口は、2005年1056811人が、2015年に1049504人と1%減少し、2025年の人口が1017084人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

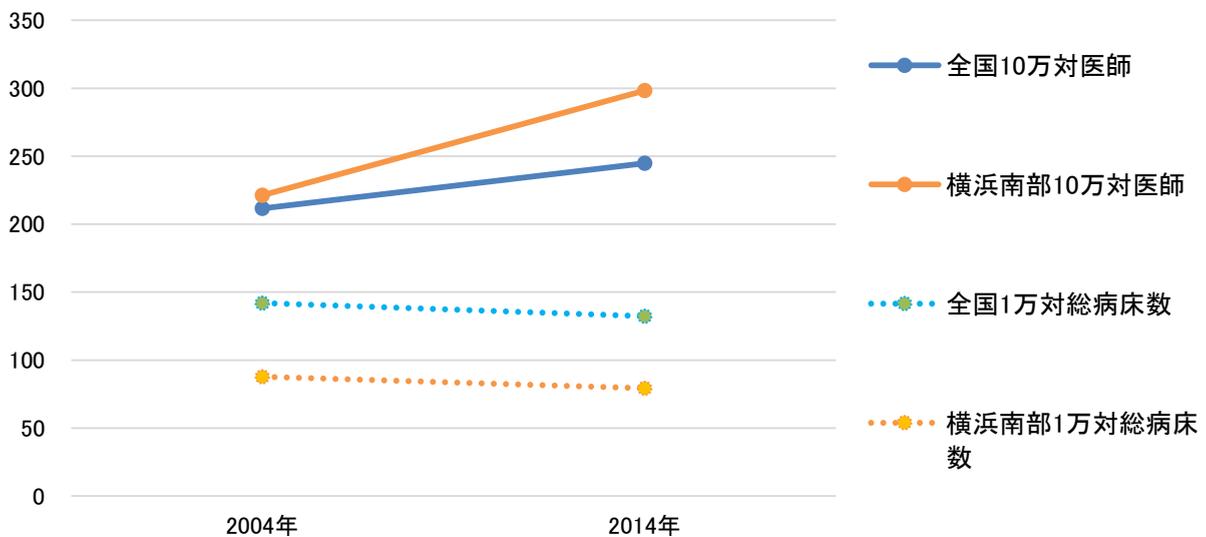
2004年の病院数が38(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に34(人口10万人当たり3.2病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が831(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に870(人口10万人当たり83診療所(全国平均79)偏差値52)と、39診療所が増加した。

2004年の総病床数が9274床(人口1万人当たり88(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に8312床(人口1万人当たり79(全国平均132)偏差値41)と、962床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

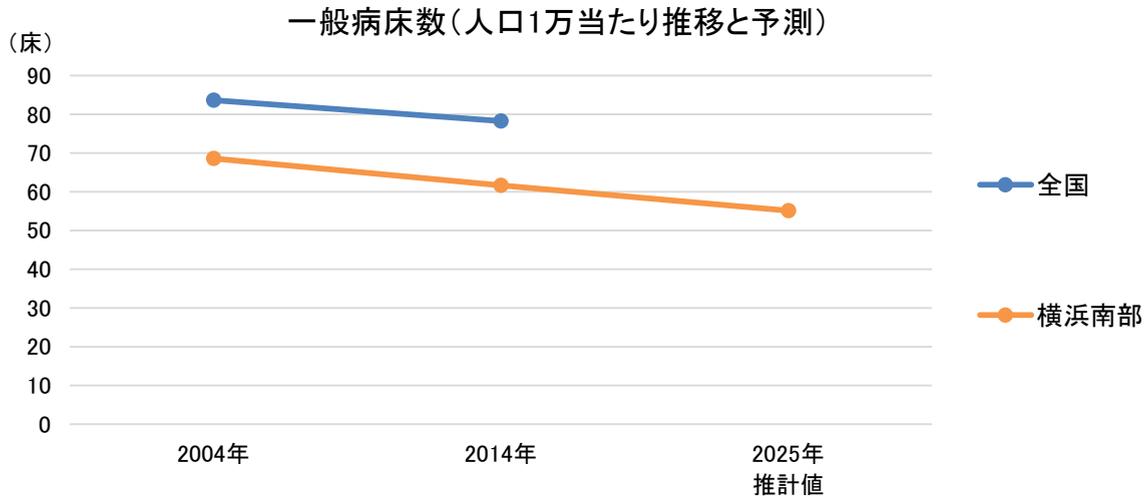
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が2337人(人口10万人当たり221人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に3131人(人口10万人当たり298人(全国平均245人)偏差値56)と、794人の増加、率にして34%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



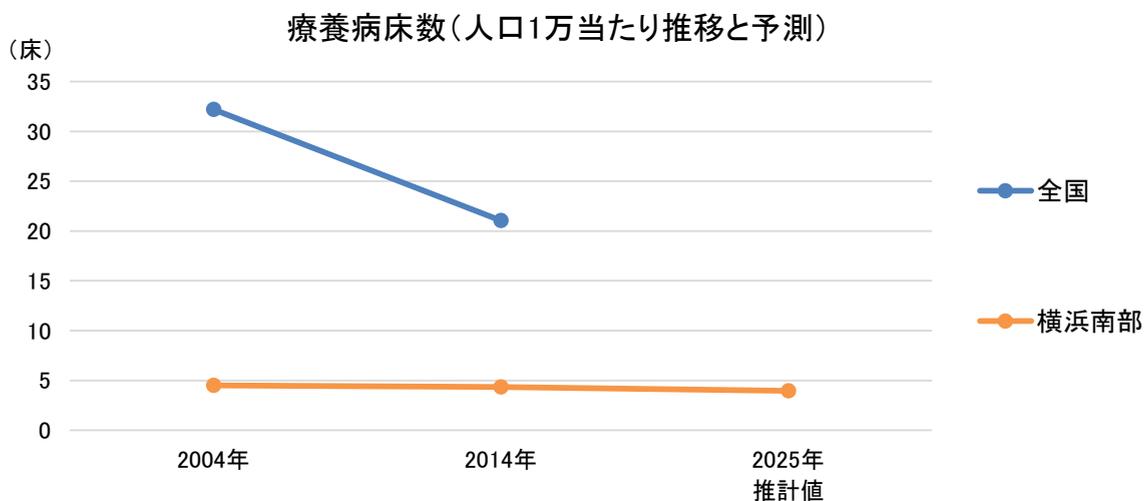
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7247床(人口1万人当たり69(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に6468床(人口1万人当たり62(全国平均78)偏差値44)と、779床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5611床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



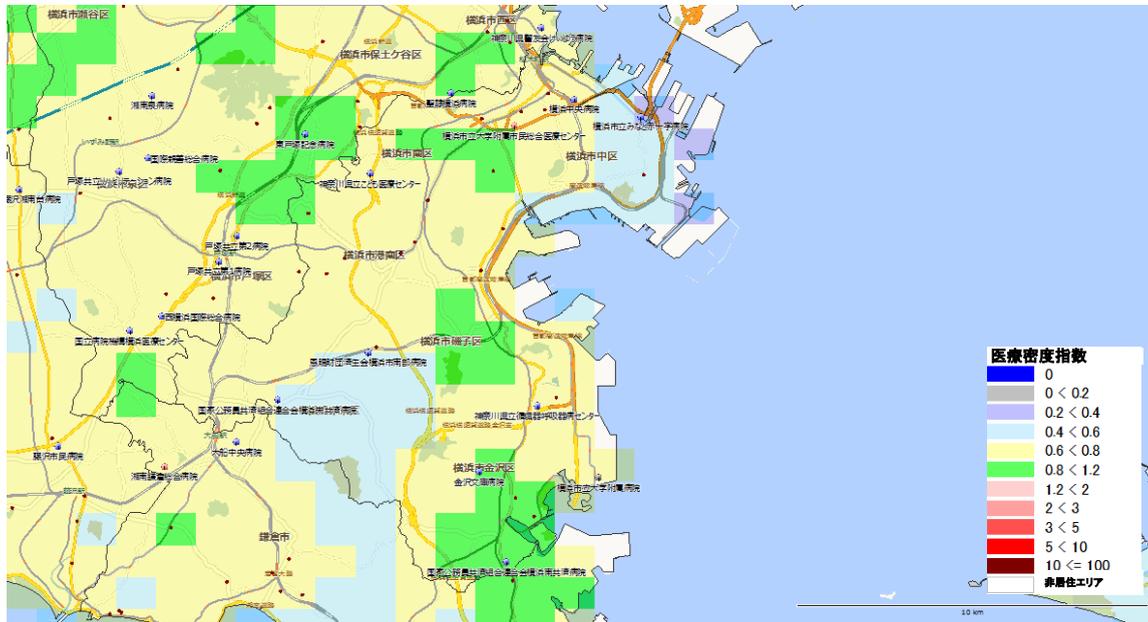
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が356床(75歳以上1000人当たり4(全国平均32)偏差値34)であったが、2014年に548床(75歳以上1000人当たり4(全国平均21)偏差値36)と、192床の増加、率にして54%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には759床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。



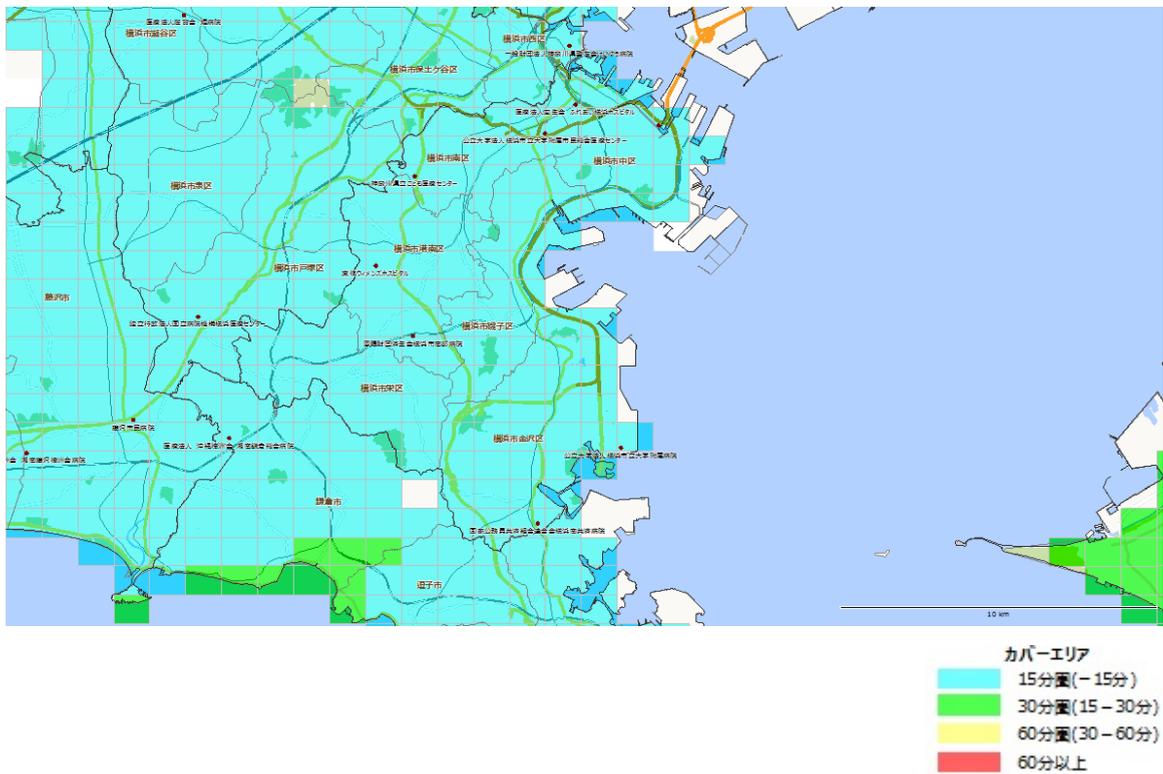
(横浜南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

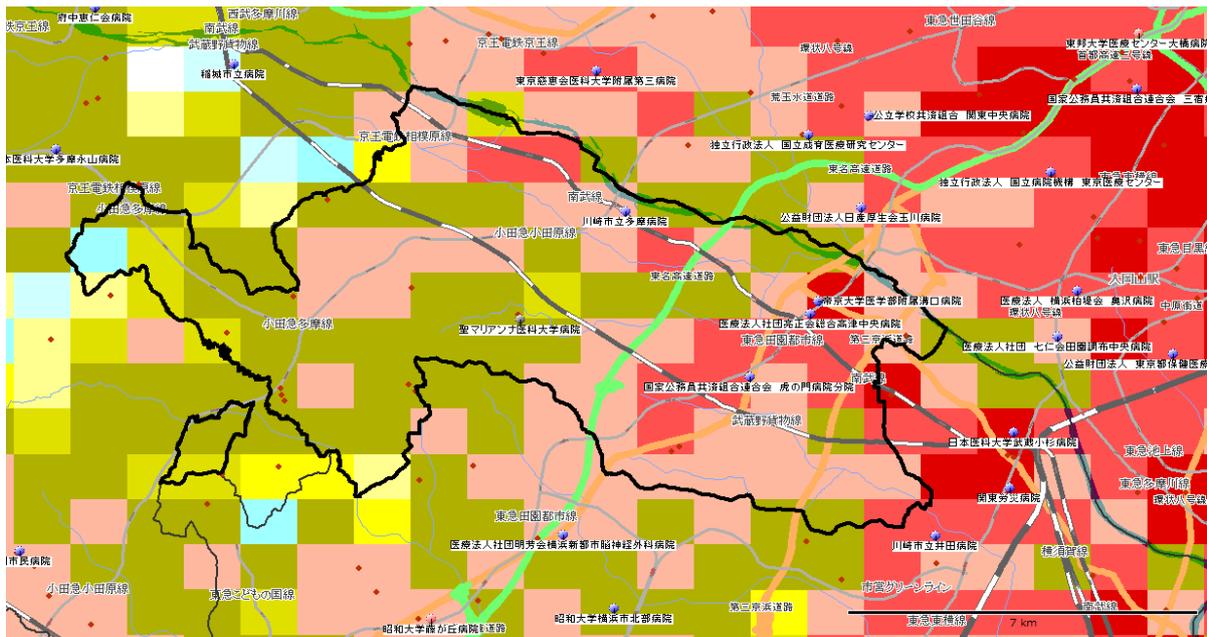
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



14-4. 川崎北部医療圏

構成市区町村⁹ [高津区](#) [多摩区](#) [宮前区](#) [麻生区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(川崎北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川崎北部(川崎市高津区)は、総人口約843千人(2015年)、面積79km²、人口密度は10714人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川崎北部の総人口は2025年に879千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に868千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の73千人が、2025年にかけて120千人へと増加し(2015年比+64%)、2040年には150千人へと増加する(2025年比+25%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川崎北部の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川崎北部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が46(病院医師数48、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は35と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。川崎北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の新百合ヶ丘総合病院(Ⅲ群)、聖マリアンナ医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の川崎市立多摩病院(Ⅲ群)、帝京大学医学部附属溝口病院(Ⅲ群)、500例以上の総合高津中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川崎北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12462人(75歳以上1000人当たりの偏差値90)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4369床(偏差値49)、高齢者住宅等が8093床(偏差値93)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6483人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム109、軽費ホーム57、グループホーム55、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1015人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰みである。

(川崎北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

川崎北部医療圏の総人口は、2005年768177人が、2015年に843416人と10%増加し、2025年の人口が878812人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて19%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

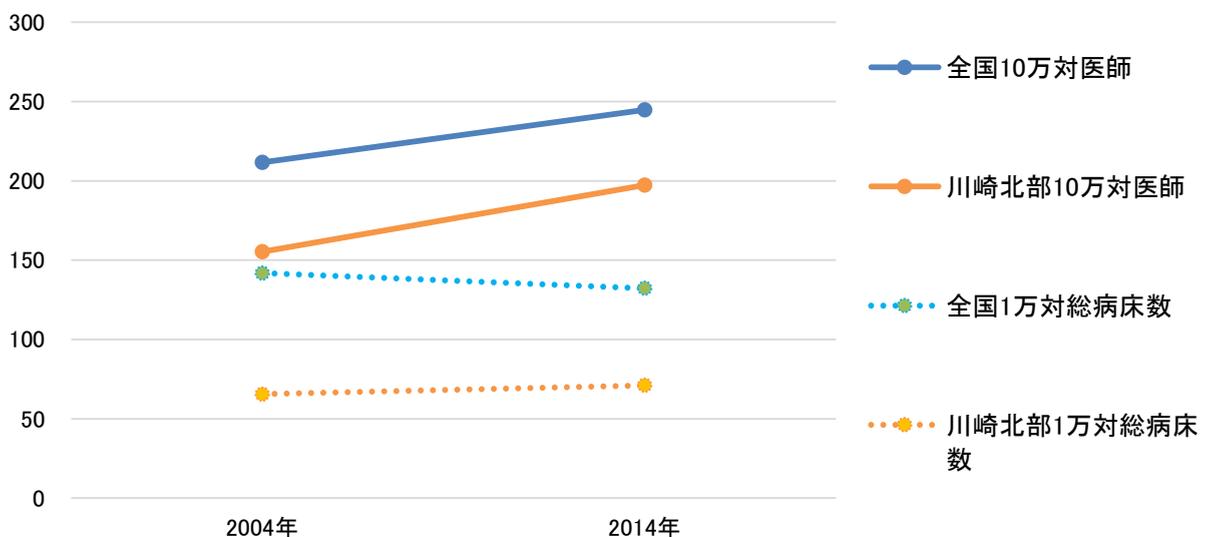
2004年の病院数が18(人口10万人当たり2.3病院(全国平均7.1)偏差値38)であったが、2014年に20(人口10万人当たり2.4病院(全国平均6.7)偏差値40)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が419(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に501(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、82診療所が増加した。

2004年の総病床数が5029床(人口1万人当たり65(全国平均142)偏差値36)であったが、2014年に5992床(人口1万人当たり71(全国平均132)偏差値39)と、963床の増加、率にして19%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

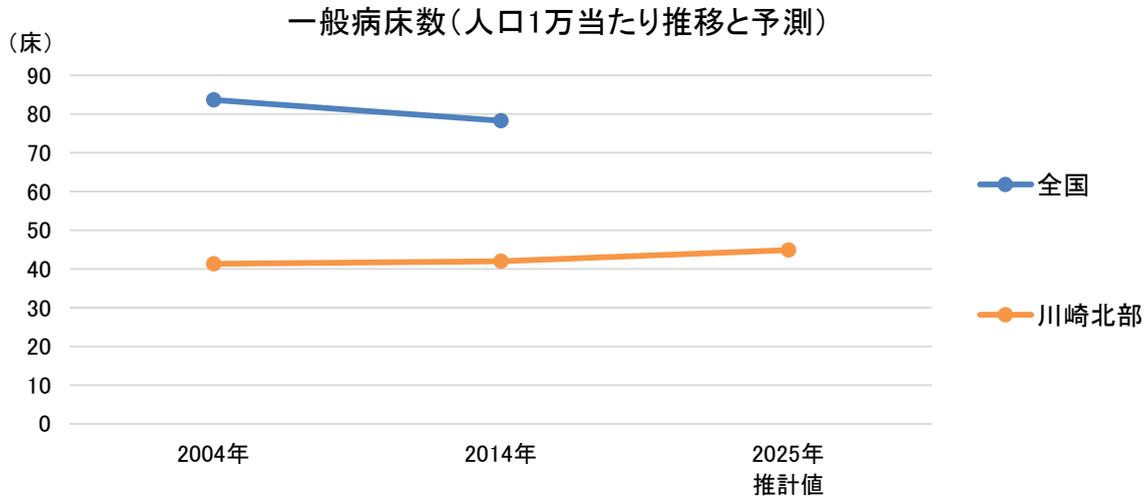
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1193人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1664人(人口10万人当たり197人(全国平均245人)偏差値45)と、471人の増加、率にして39%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



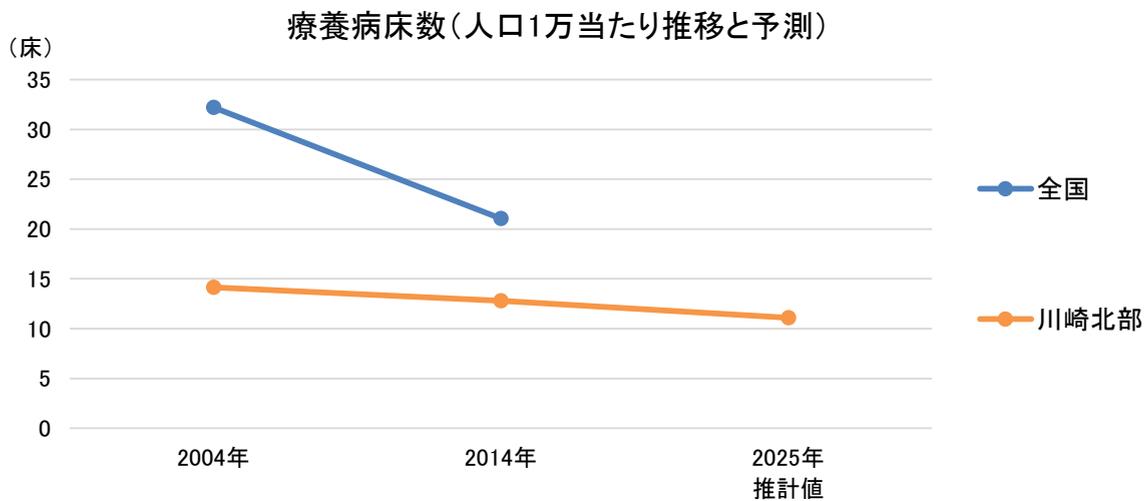
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3174床(人口1万人当たり41(全国平均84)偏差値35)であったが、2014年に3539床(人口1万人当たり42(全国平均78)偏差値37)と、365床の増加、率にして11%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3941床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



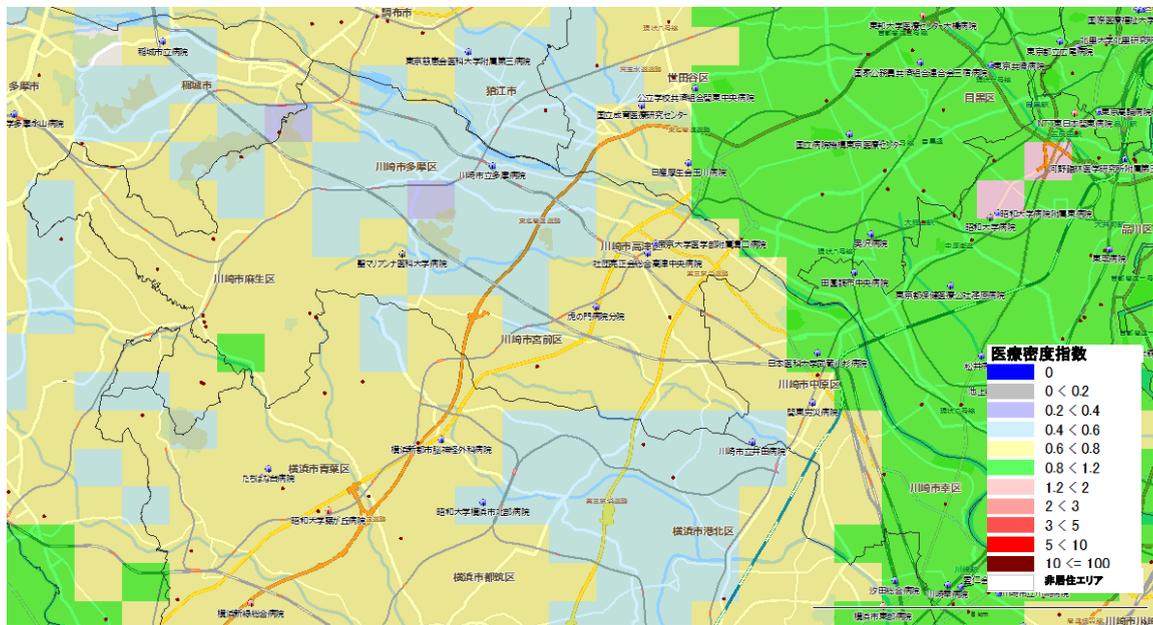
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が569床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に933床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、364床の増加、率にして64%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1333床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



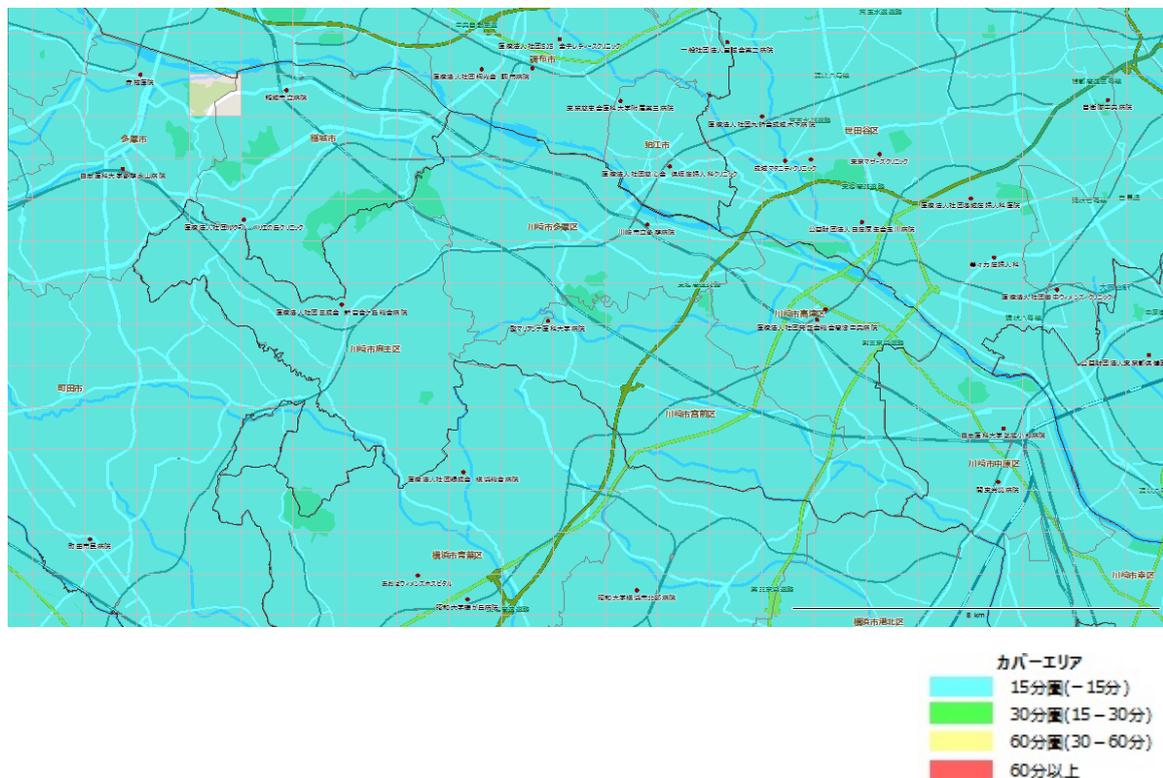
(川崎北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

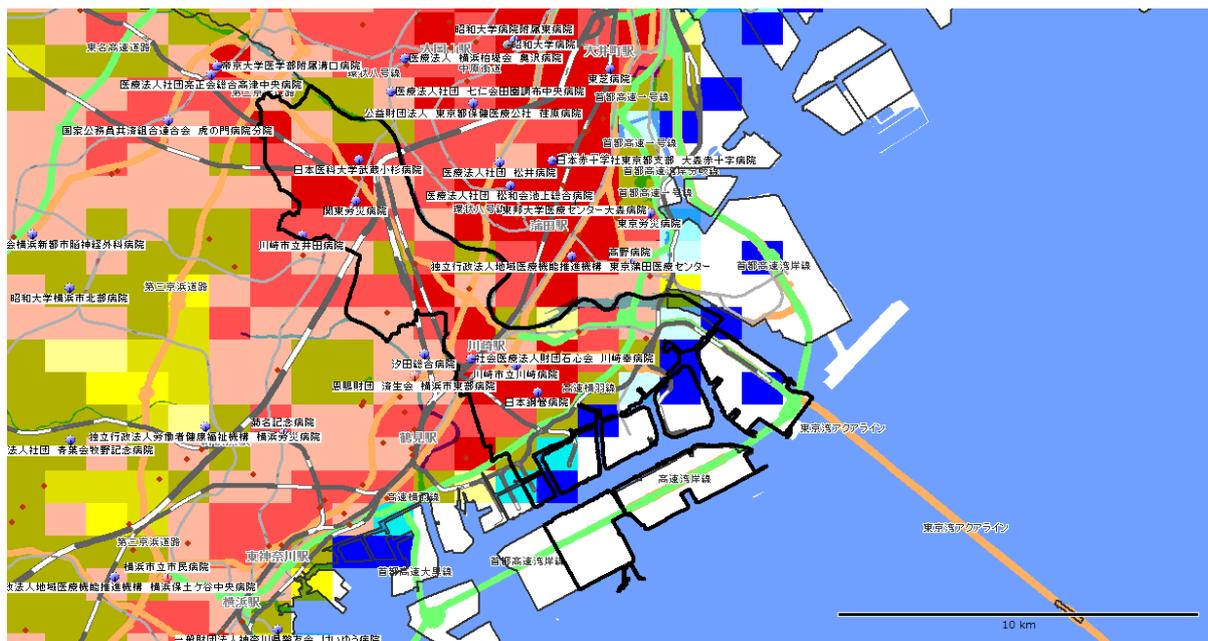


14-5. 川崎南部医療圏

かわさきなんぶ

構成市区町村⁹ [川崎市](#) [幸区](#) [中原区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(川崎南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 川崎南部(川崎市川崎区)は、総人口約632千人(2015年)、面積64km²、人口密度は9829人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 川崎南部の総人口は2025年に624千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に607千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の56千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には83千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 川崎南部の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値44)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 川崎南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が52(病院医師数50、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は59と多い。川崎南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の関東労災病院(Ⅲ群)、川崎幸病院(Ⅲ群)、川崎市立川崎病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の日本医科大学武蔵小杉病院(Ⅲ群・救命)、川崎市立井田病院(Ⅲ群)、日本鋼管病院(Ⅲ群)、太田総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 川崎南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5326人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2195床(偏差値32)、高齢者住宅等が3131床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3529人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設30、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム63、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、995人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(川崎南部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

川崎南部医療圏の総人口は、2005年558834人が、2015年に631797人と13%増加し、2025年の人口が623803人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

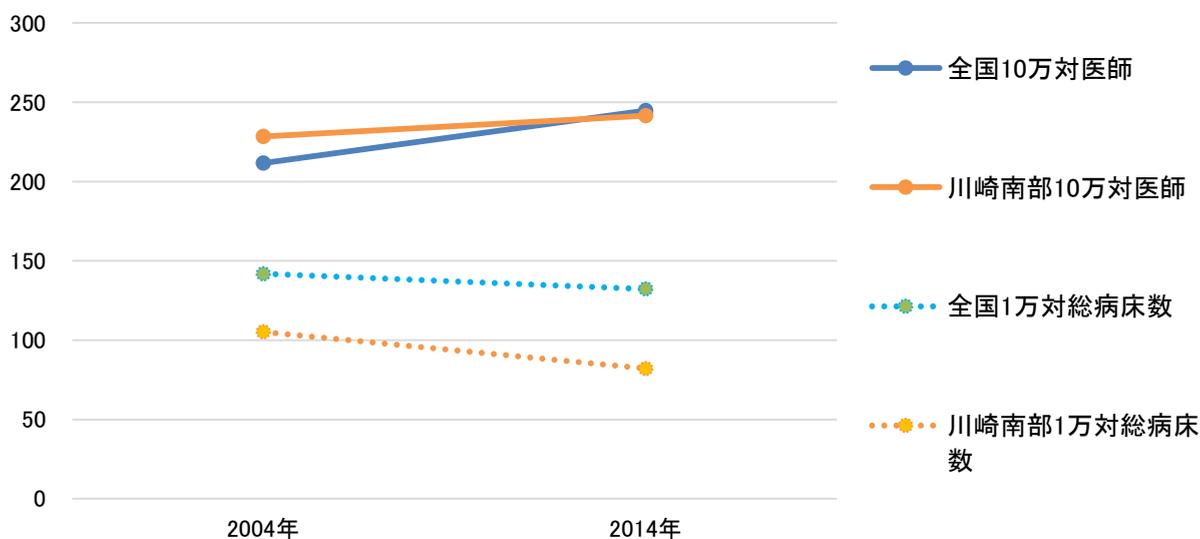
2004年の病院数が26(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に21(人口10万人当たり3.3病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が442(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に438(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値45)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が5879床(人口1万人当たり105(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に5187床(人口1万人当たり82(全国平均132)偏差値41)と、692床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

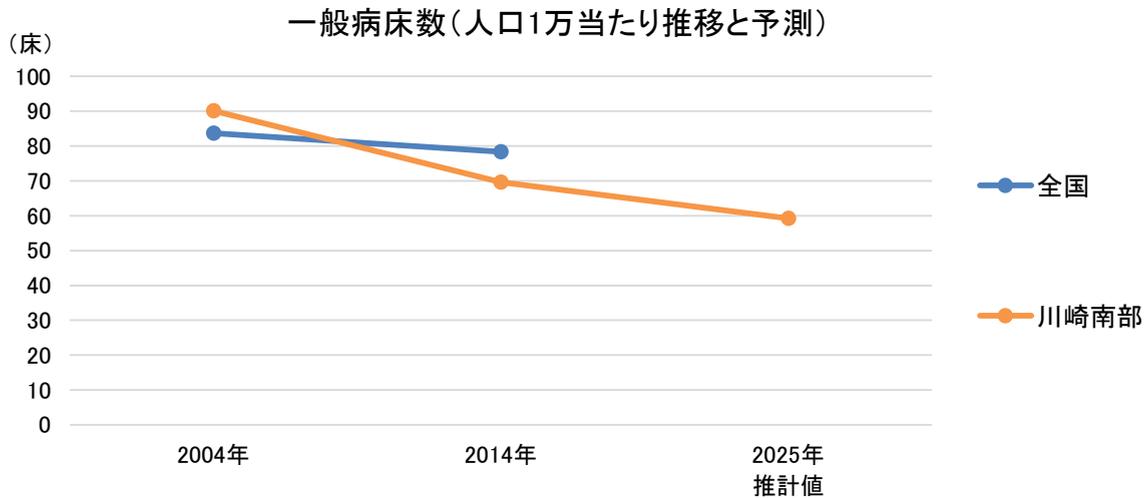
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1277人(人口10万人当たり229人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2014年に1526人(人口10万人当たり242人(全国平均245人)偏差値50)と、249人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



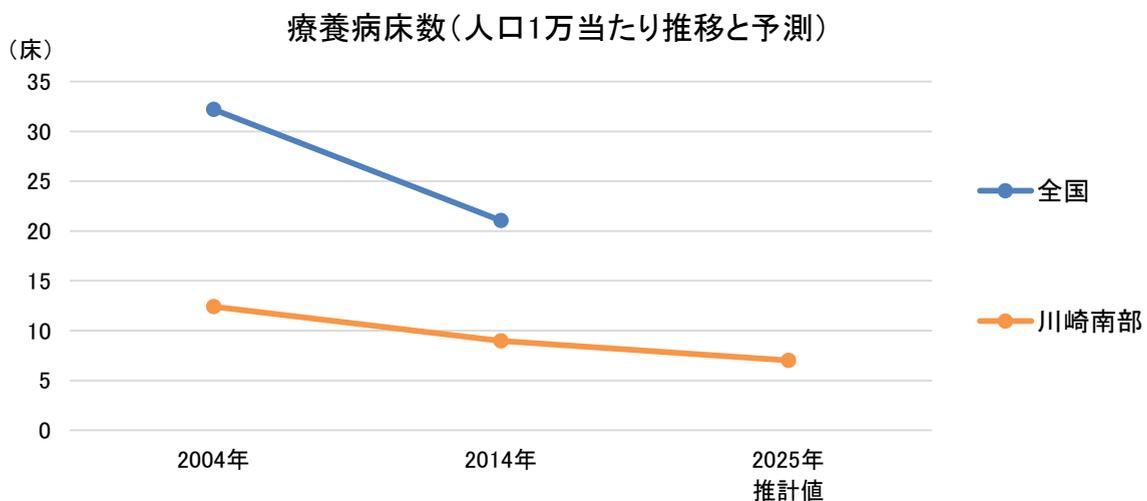
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5034床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に4398床(人口1万人当たり70(全国平均78)偏差値47)と、636床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3698床(2025年の推計人口1万人当たり59)になることが予想される。



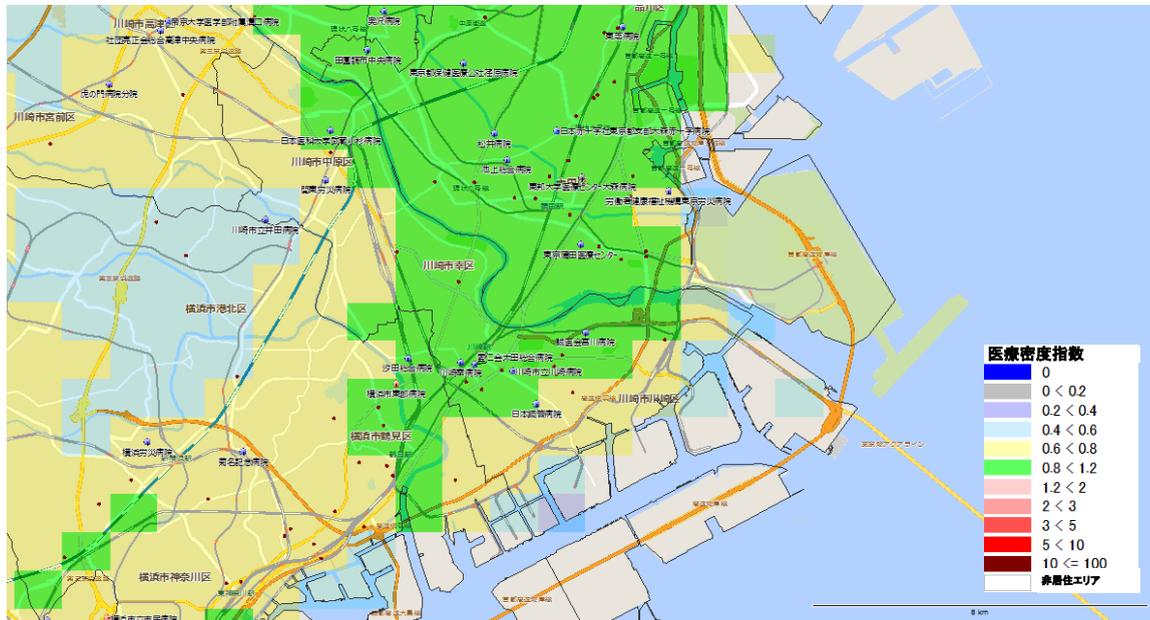
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が474床(75歳以上1000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2014年に499床(75歳以上1000人当たり9(全国平均21)偏差値40)と、25床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には527床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。



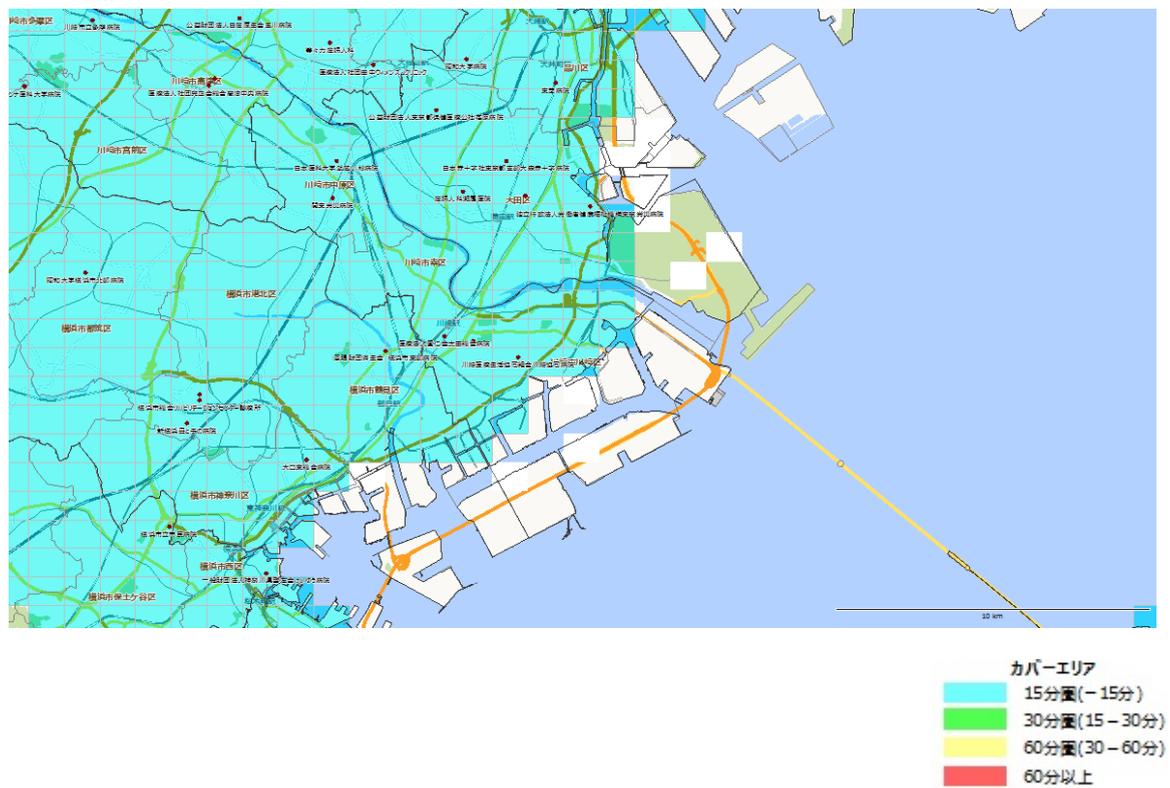
(川崎南部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

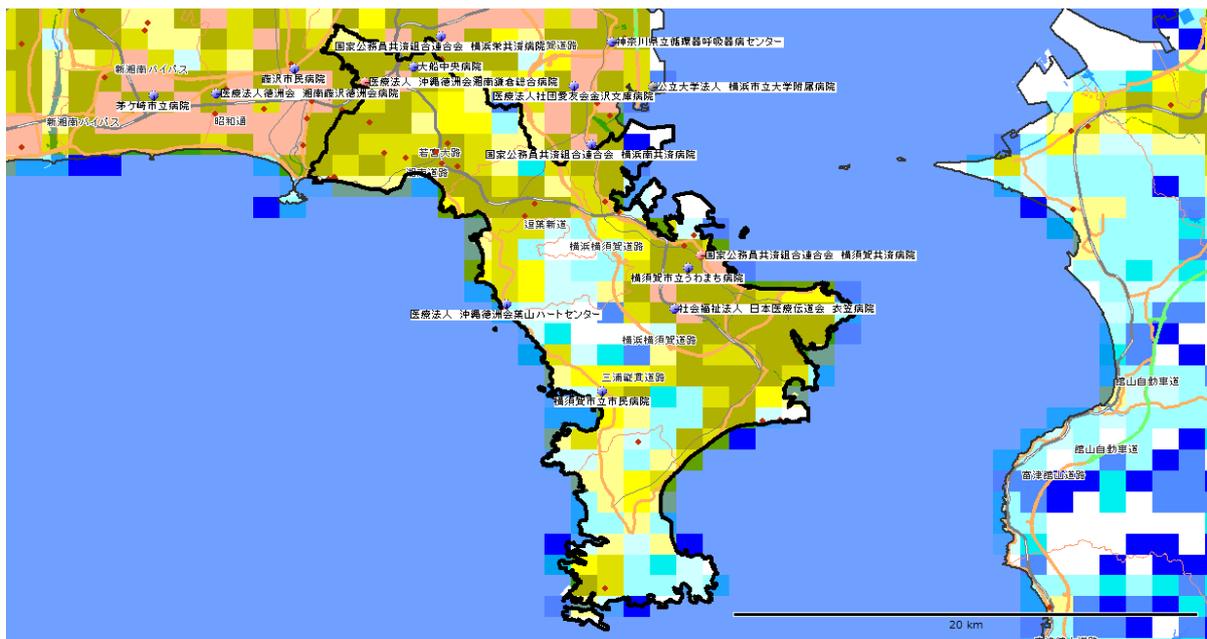
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



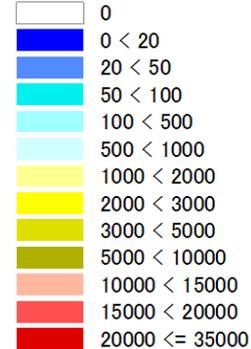
14-6. よこすか みうら 横須賀・三浦医療圏

構成市区町村⁹ [横須賀市](#) [鎌倉市](#) [逗子市](#) [三浦市](#)
[葉山町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(横須賀・三浦医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 横須賀・三浦(横須賀市)は、総人口約714千人(2015年)、面積207km²、人口密度は3453人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 横須賀・三浦の総人口は2025年に667千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に570千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の106千人が、2025年にかけて138千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には123千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 横須賀・三浦の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値51)、介護給付費は240千円(偏差値46)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 横須賀・三浦の一人当たり急性期医療密度指数²は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.56で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数46、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は40と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。横須賀・三浦には、年間全身麻酔件数が2000例以上の湘南鎌倉総合病院(Ⅱ群・救命)、横須賀共済病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の大船中央病院(Ⅲ群)、横須賀市立うわまち病院(Ⅲ群・救命)、横須賀市立市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 横須賀・三浦の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10531人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5168床(偏差値40)、高齢者住宅等が5363床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7172人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム68、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1345人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(横須賀・三浦医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

横須賀・三浦医療圏の総人口は、2005年736761人が、2015年に714415人と3%減少し、2025年の人口が666951人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

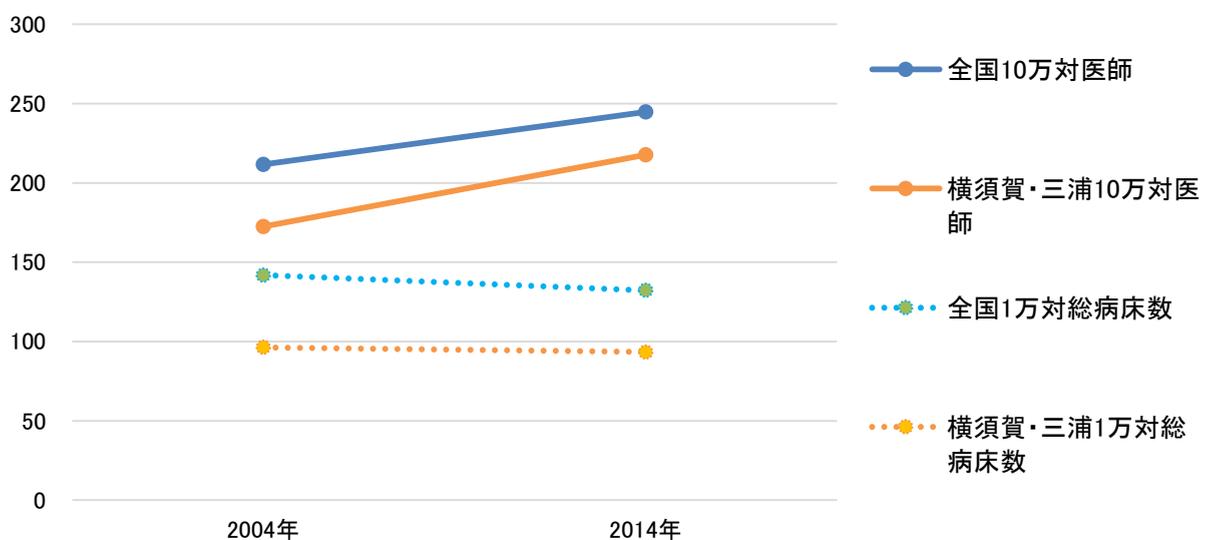
2004年の病院数が32(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に31(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が575(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に588(人口10万人当たり82診療所(全国平均79)偏差値52)と、13診療所が増加した。

2004年の総病床数が7097床(人口1万人当たり96(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に6673床(人口1万人当たり93(全国平均132)偏差値43)と、424床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

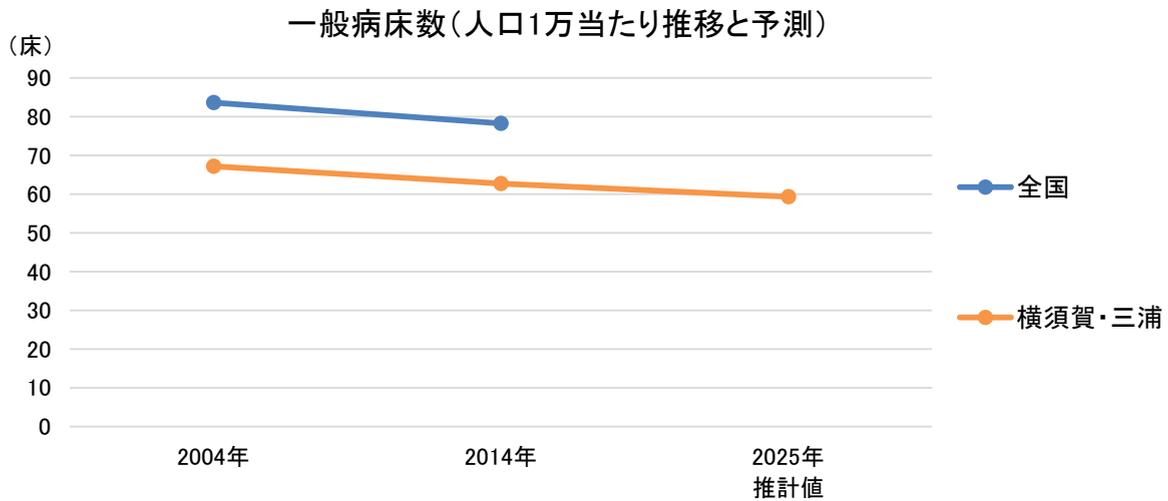
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1271人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に1556人(人口10万人当たり218人(全国平均245人)偏差値47)と、285人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



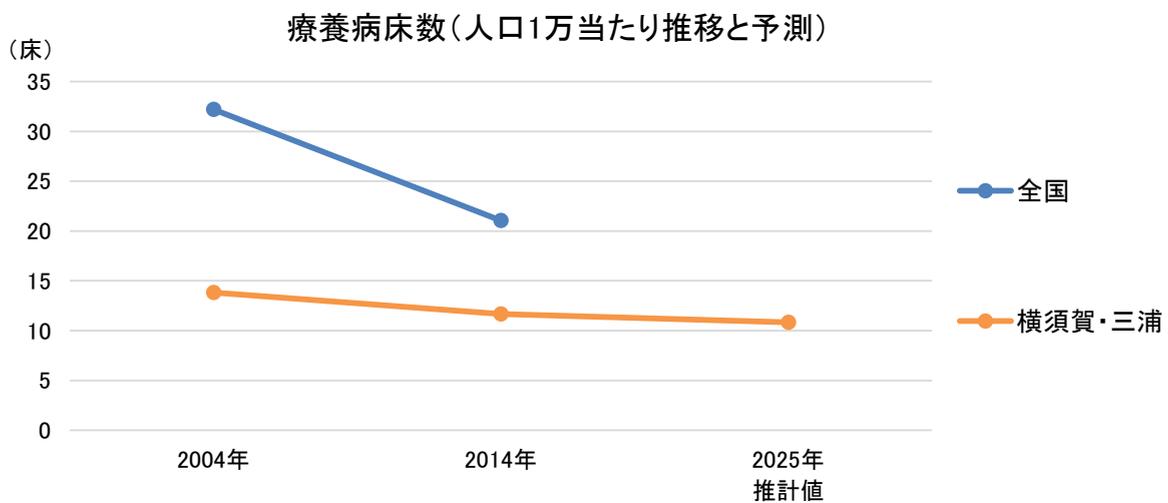
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4954床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に4480床(人口1万人当たり63(全国平均78)偏差値44)と、474床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3959床(2025年の推計人口1万人当たり59)になることが予想される。



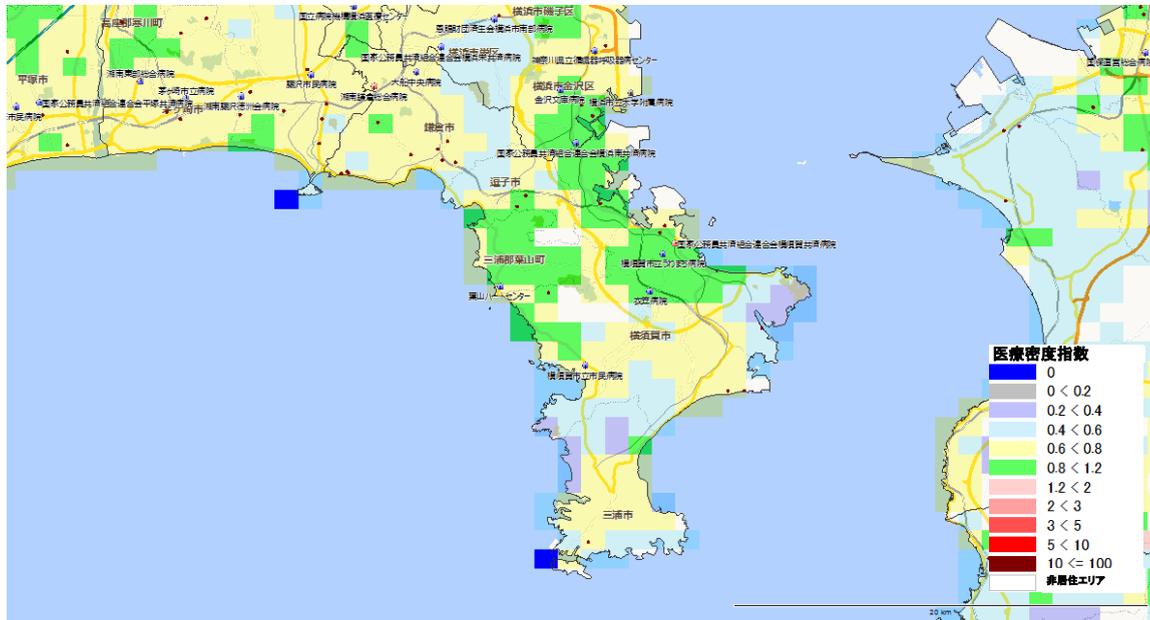
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が998床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に1233床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、235床の増加、率にして24%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1492床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



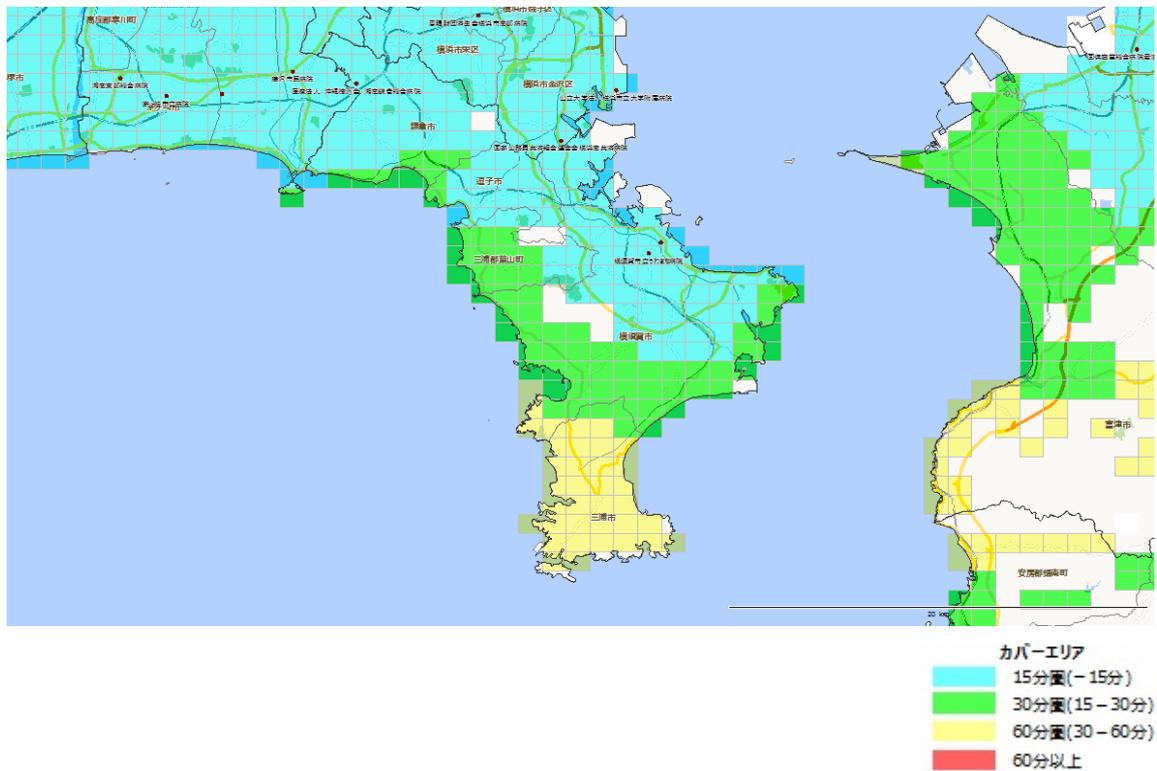
(横須賀・三浦医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

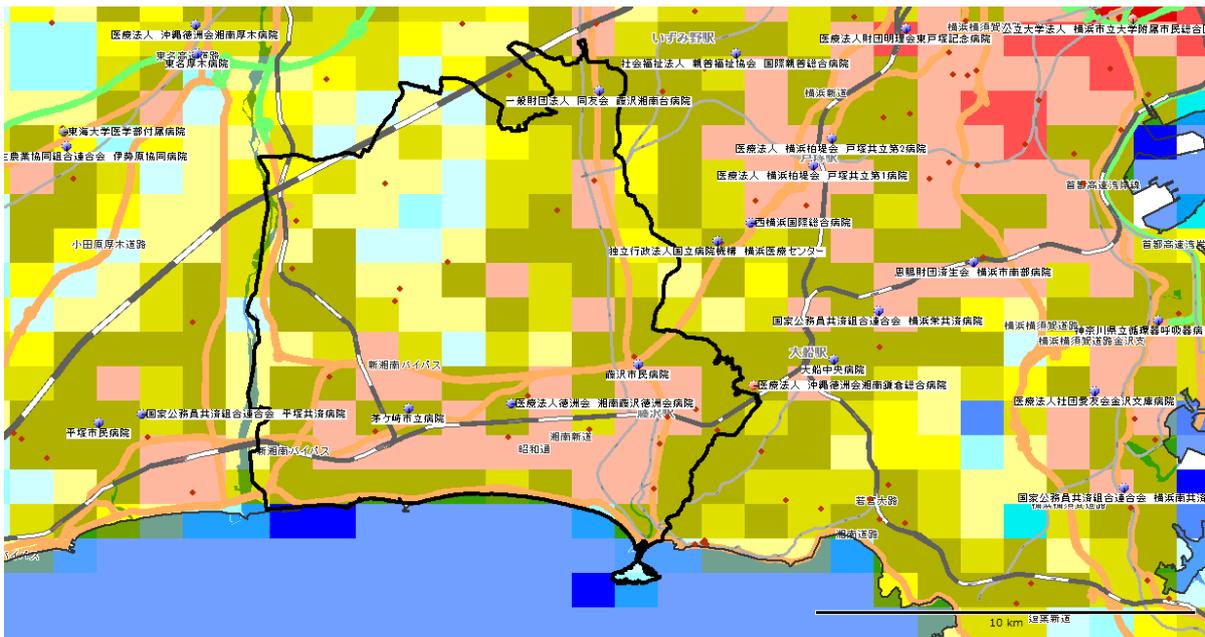
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



14-7. しょうなんとうぶ 湘南東部医療圏

構成市区町村⁹ [藤沢市](#) [茅ヶ崎市](#) [寒川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(湘南東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 湘南東部(藤沢市)は、総人口約711千人(2015年)、面積119km²、人口密度は5996人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 湘南東部の総人口は2025年に695千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に650千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて112千人へと増加し(2015年比+44%)、2040年には117千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 湘南東部の一人当たり医療費(国保)は318千円(偏差値44)、介護給付費は206千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 湘南東部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数39、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。湘南東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の藤沢市民病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の茅ヶ崎市立病院(Ⅲ群)、湘南藤沢徳洲会病院(Ⅲ群)、藤沢湘南台病院(Ⅲ群)、500例以上の湘南東部総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 湘南東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7953人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3478床(偏差値36)、高齢者住宅等が4475床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5073人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム63、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住58である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1032人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-41%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湘南東部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

湘南東部医療圏の総人口は、2005年671891人が、2015年に711178人と6%増加し、2025年の人口が695166人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

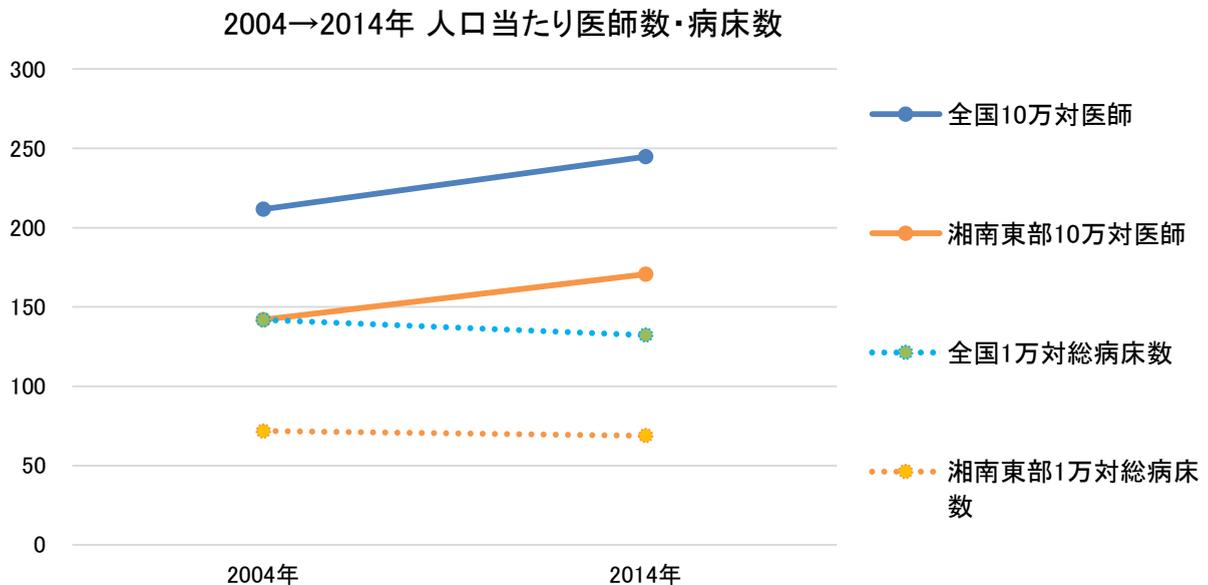
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.4病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に22(人口10万人当たり3.1病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が496(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に539(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、43診療所が増加した。

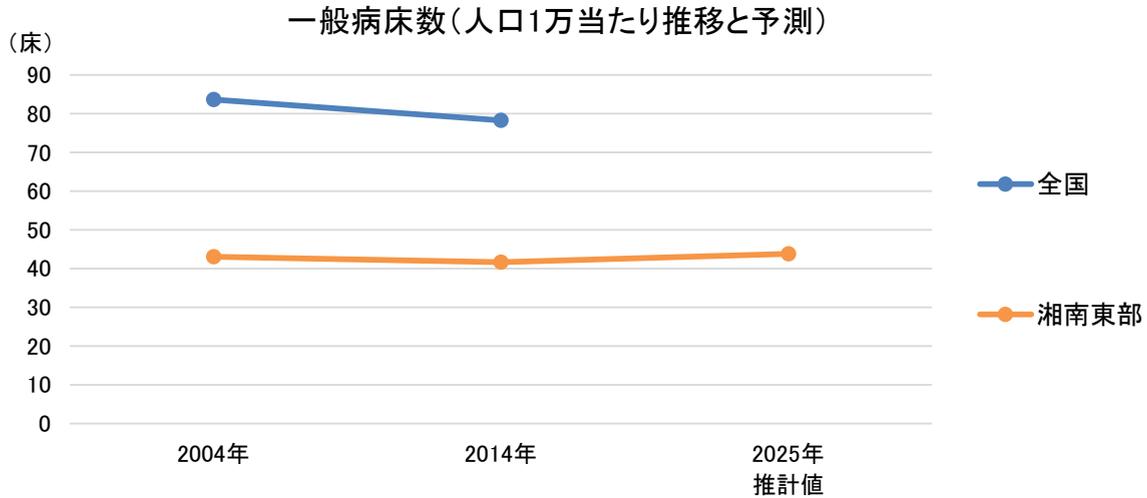
2004年の総病床数が4821床(人口1万人当たり72(全国平均142)偏差値37)であったが、2014年に4895床(人口1万人当たり69(全国平均132)偏差値39)と、74床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が954人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に1214人(人口10万人当たり171人(全国平均245人)偏差値42)と、260人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



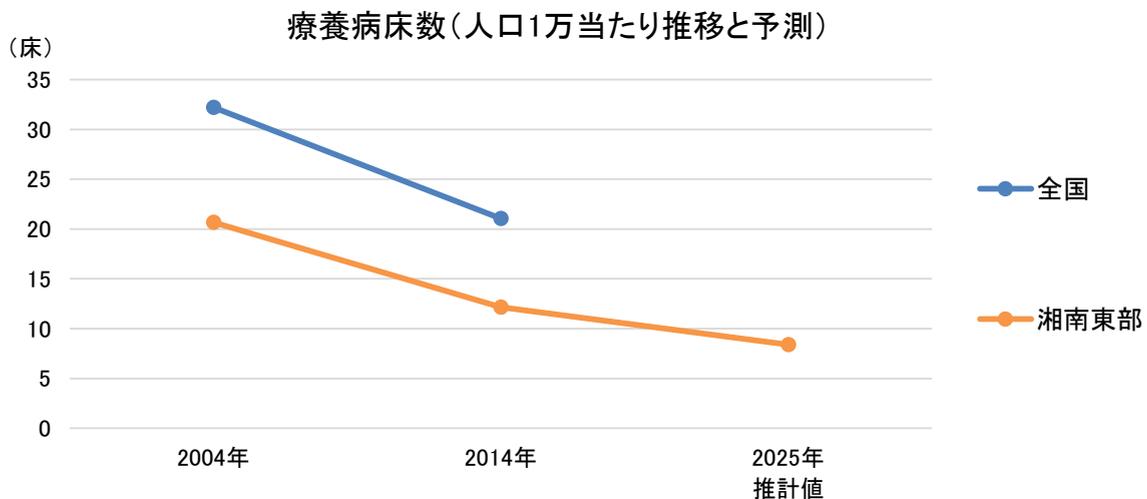
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2894床(人口1万人当たり43(全国平均84)偏差値36)であったが、2014年に2965床(人口1万人当たり42(全国平均78)偏差値37)と、71床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には3043床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が952床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に946床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、6床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には939床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



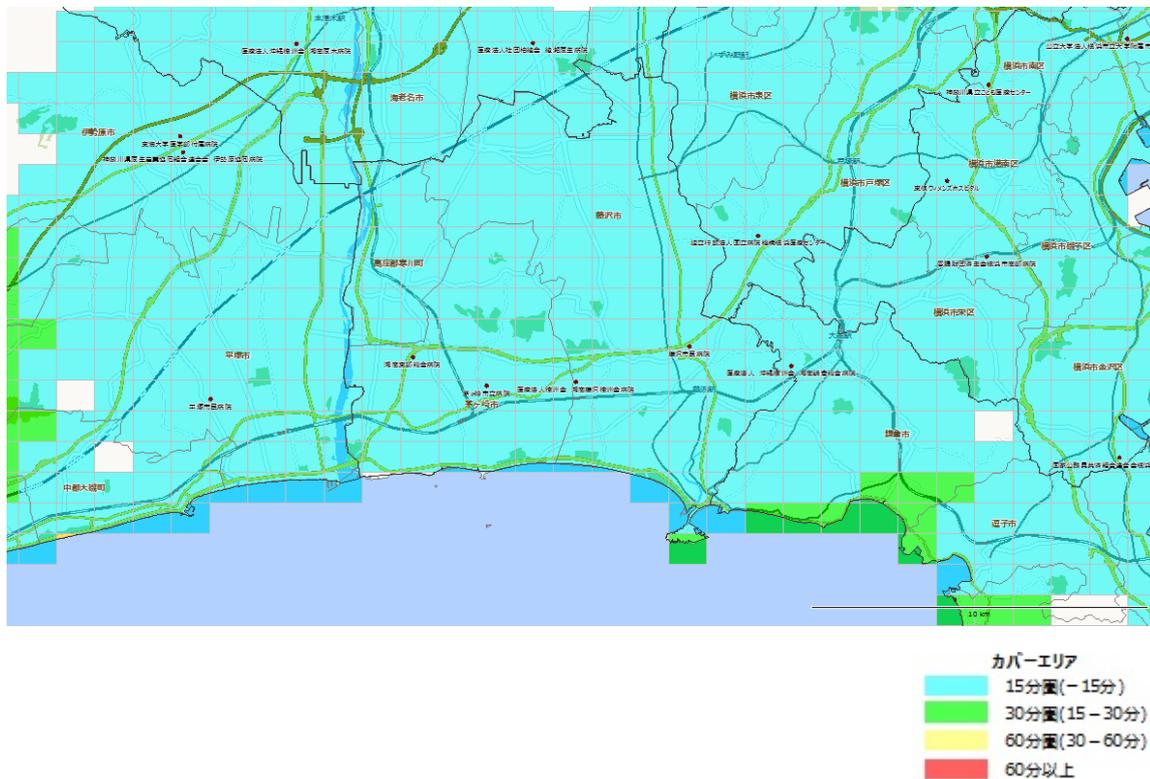
(湘南東部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

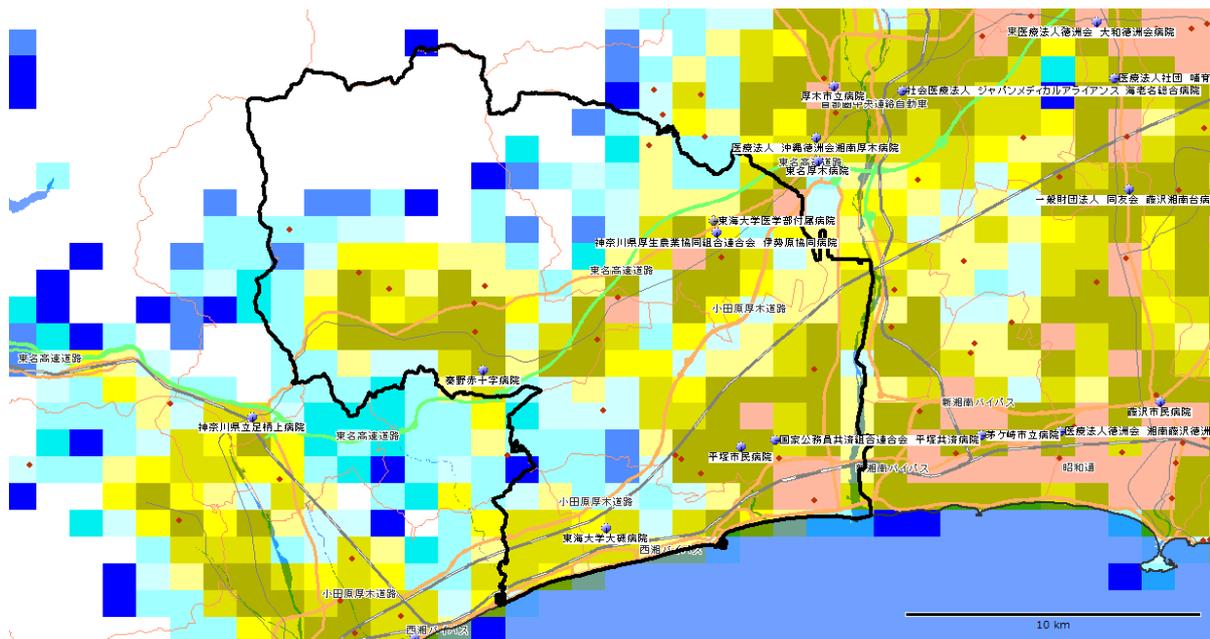
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



14-8. しょうなんせいぶ 湘南西部医療圏

構成市区町村⁹ [平塚市](#) [秦野市](#) [伊勢原市](#) [大磯町](#)
[二宮町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(湘南西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 湘南西部(平塚市)は、総人口約587千人(2015年)、面積253km²、人口密度は2317人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 湘南西部の総人口は2025年に572千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に509千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の67千人が、2025年にかけて104千人へと増加し(2015年比+55%)、2040年には106千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 湘南西部の一人当たり医療費(国保)は328千円(偏差値47)、介護給付費は213千円(偏差値39)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 湘南西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.67で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数53、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は46とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は56と多い。湘南西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東海大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の伊勢原協同病院(III群)、秦野赤十字病院(III群)、平塚市民病院(III群)、平塚共済病院(III群)、東海大学大磯病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 湘南西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7862人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3491床(偏差値42)、高齢者住宅等が4371床(偏差値65)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4786人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム72、軽費ホーム59、グループホーム45、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値40と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、716人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湘南西部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

湘南西部医療圏の総人口は、2005年590691人が、2015年に587047人と1%減少し、2025年の人口が571974人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

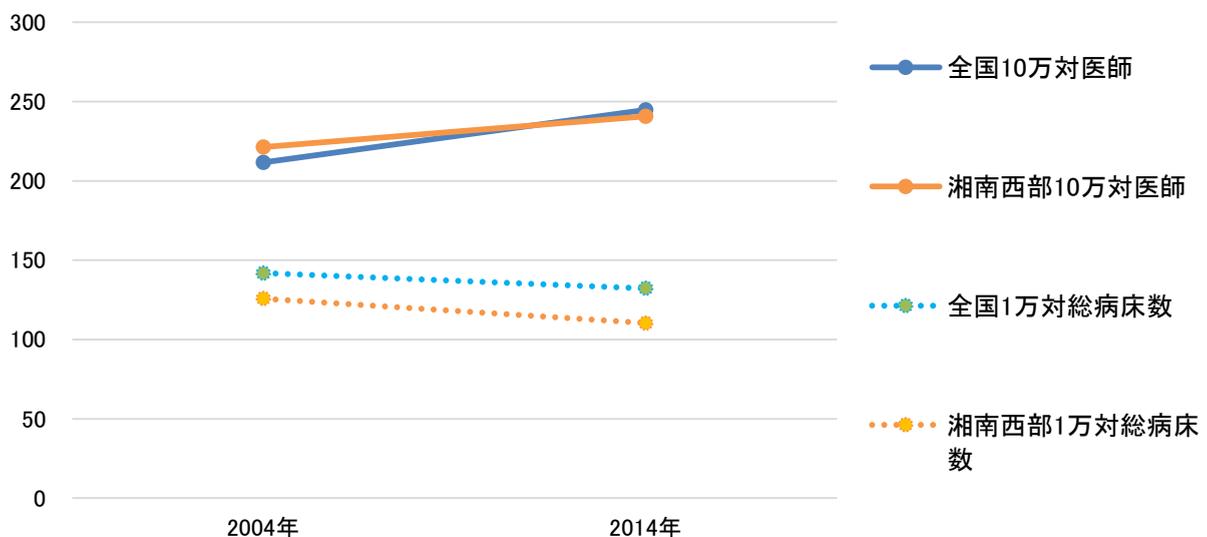
2004年の病院数が21(人口10万人当たり3.6病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に22(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が358(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に387(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、29診療所が増加した。

2004年の総病床数が7430床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に6479床(人口1万人当たり110(全国平均132)偏差値46)と、951床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

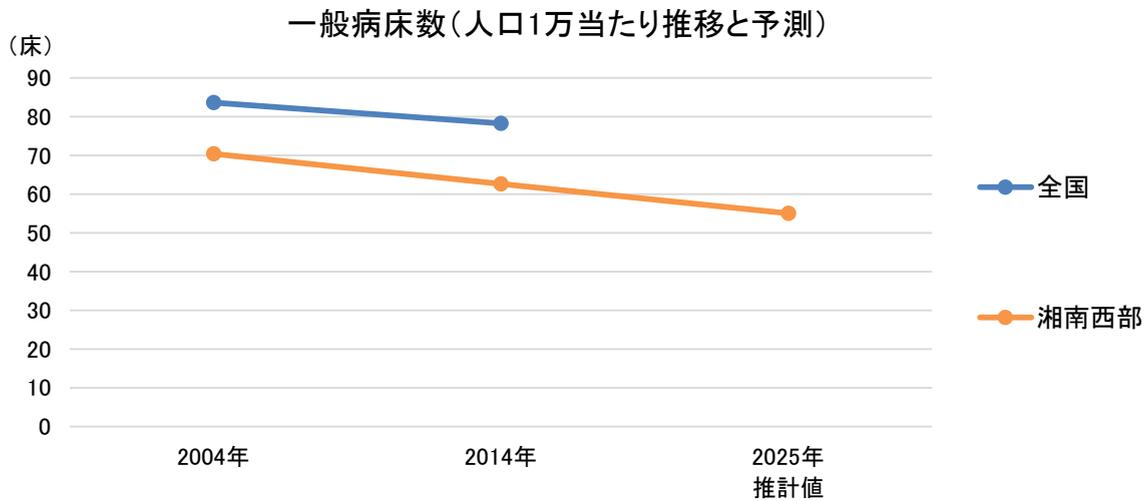
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1307人(人口10万人当たり221人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に1413人(人口10万人当たり241人(全国平均245人)偏差値50)と、106人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



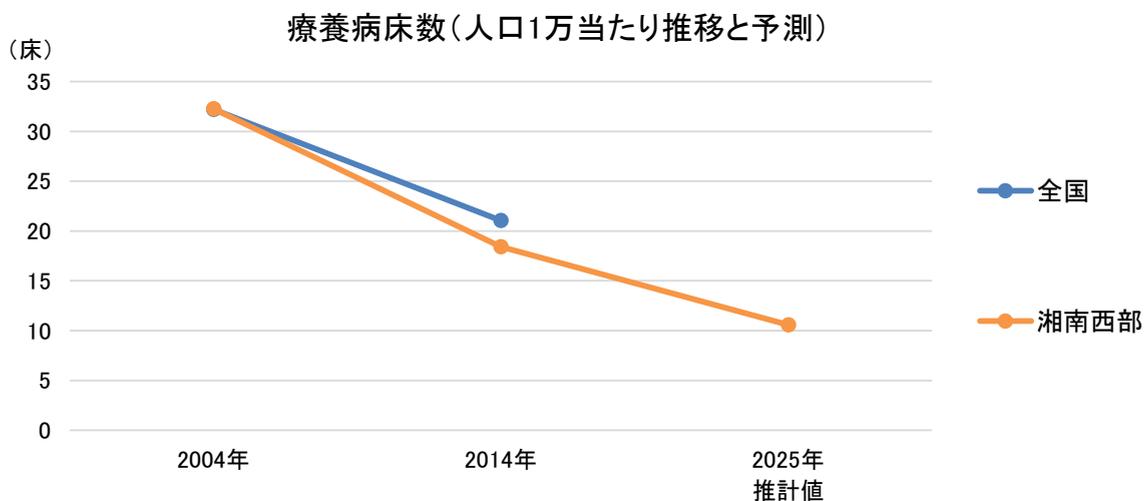
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4159床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に3679床(人口1万人当たり63(全国平均78)偏差値44)と、480床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3151床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



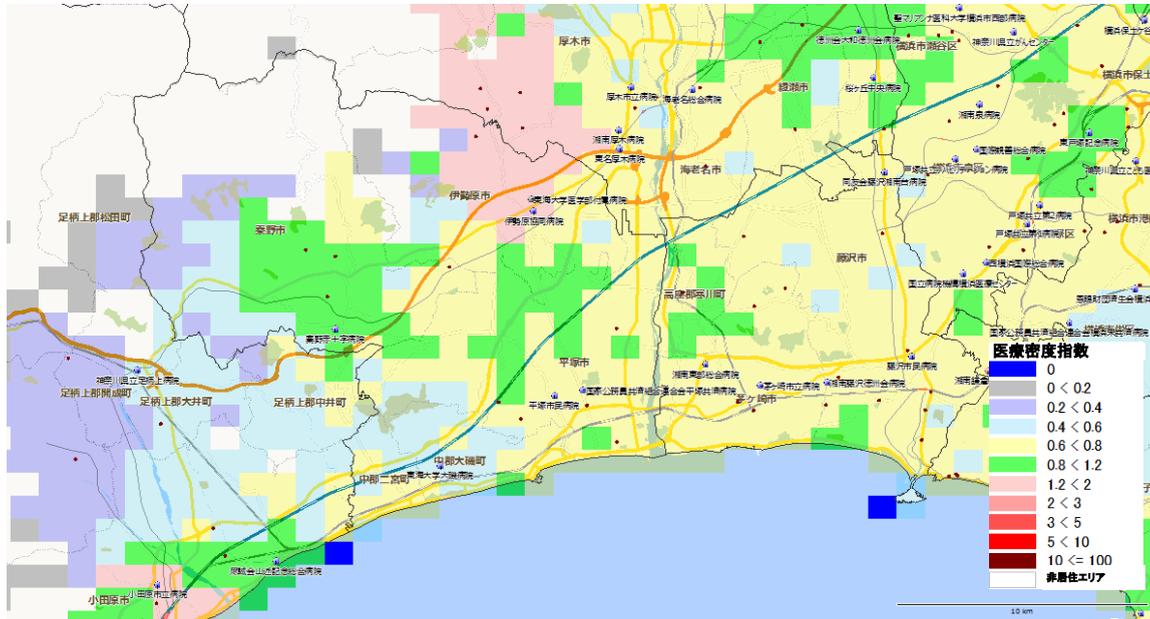
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1348床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に1232床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、116床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1104床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。



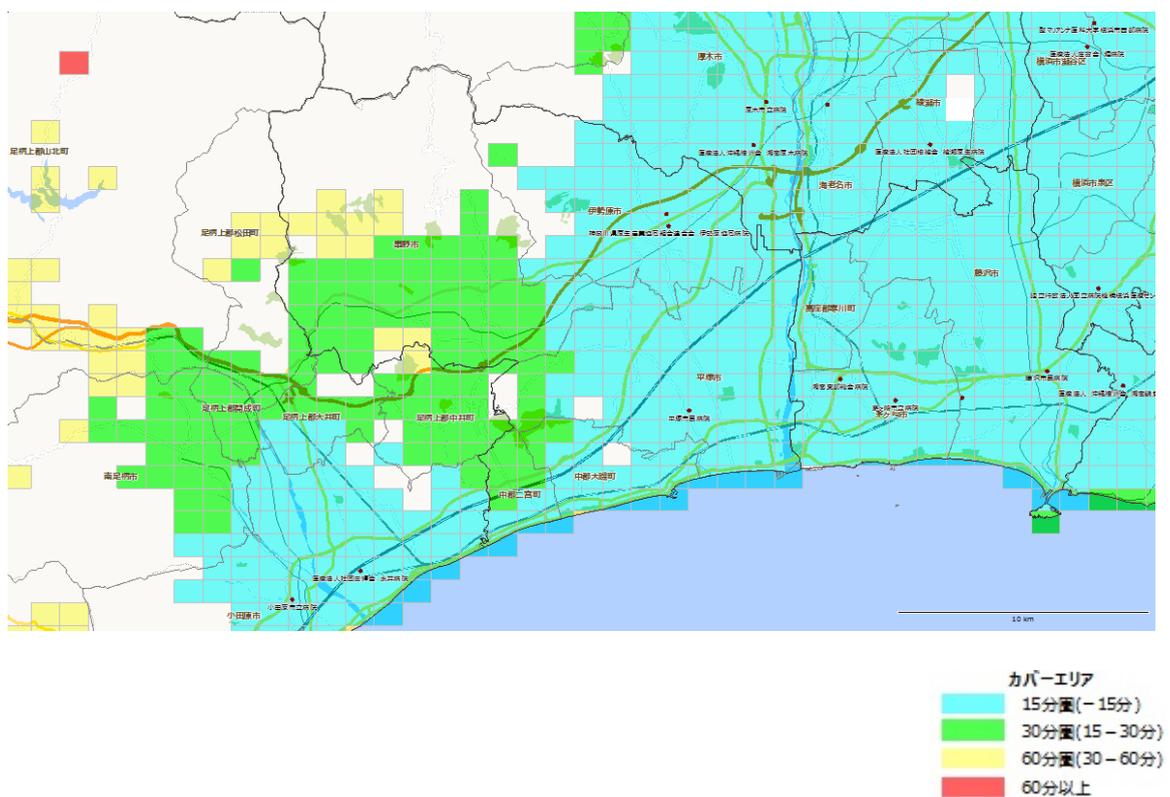
(湘南西部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

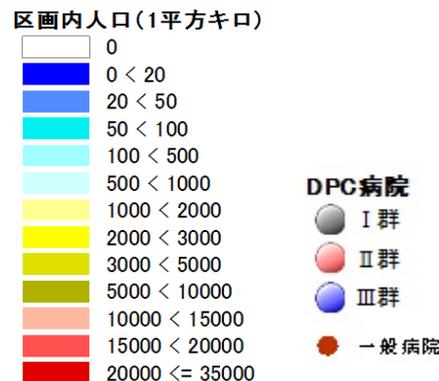
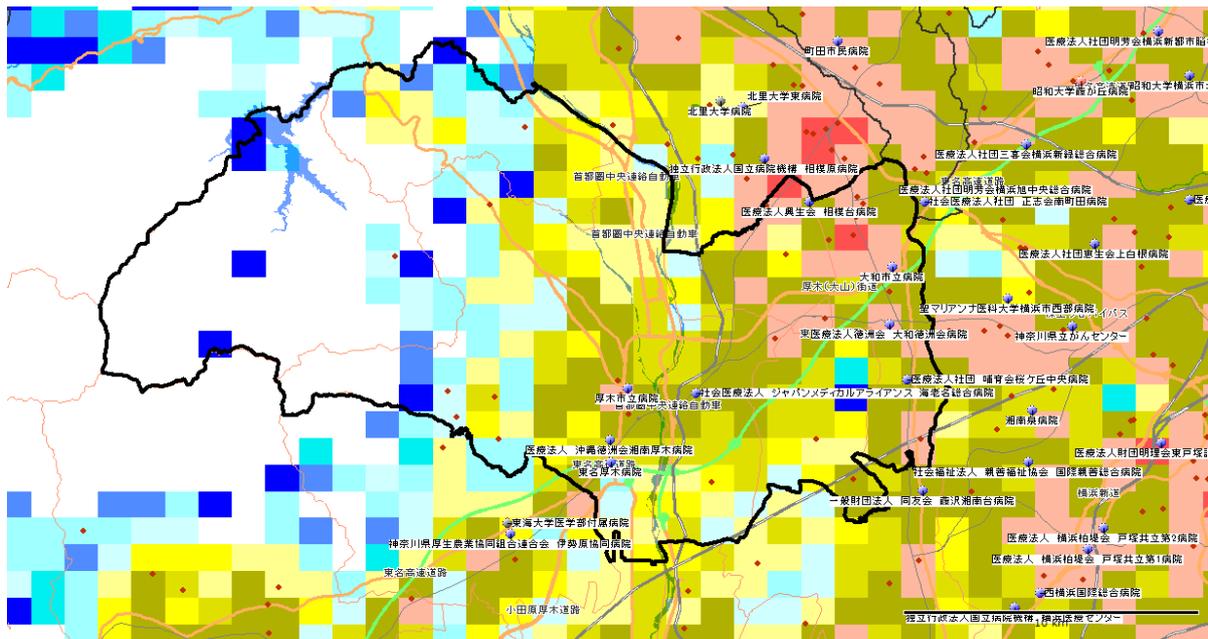
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



14-9. けんおう 県央医療圏

構成市区町村⁹ [厚木市](#) [大和市](#) [海老名市](#) [座間市](#)
[綾瀬市](#) [愛川町](#) [清川村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(厚木市)は、総人口約846千人(2015年)、面積293km²、人口密度は2888人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に823千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に747千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の82千人が、2025年にかけて133千人へと増加し(2015年比+62%)、2040年には136千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値43)、介護給付費は191千円(偏差値33)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.93で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数39、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は37と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上の海老名総合病院(Ⅱ群)、1000例以上の大和市立病院(Ⅲ群)、厚木市立病院(Ⅲ群)、500例以上の相模台病院(Ⅲ群)、東名厚木病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8927人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4606床(偏差値46)、高齢者住宅等が4321床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5914人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム60、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、983人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-42%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県央医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年822880人が、2015年に845580人と3%増加し、2025年の人口が823140人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

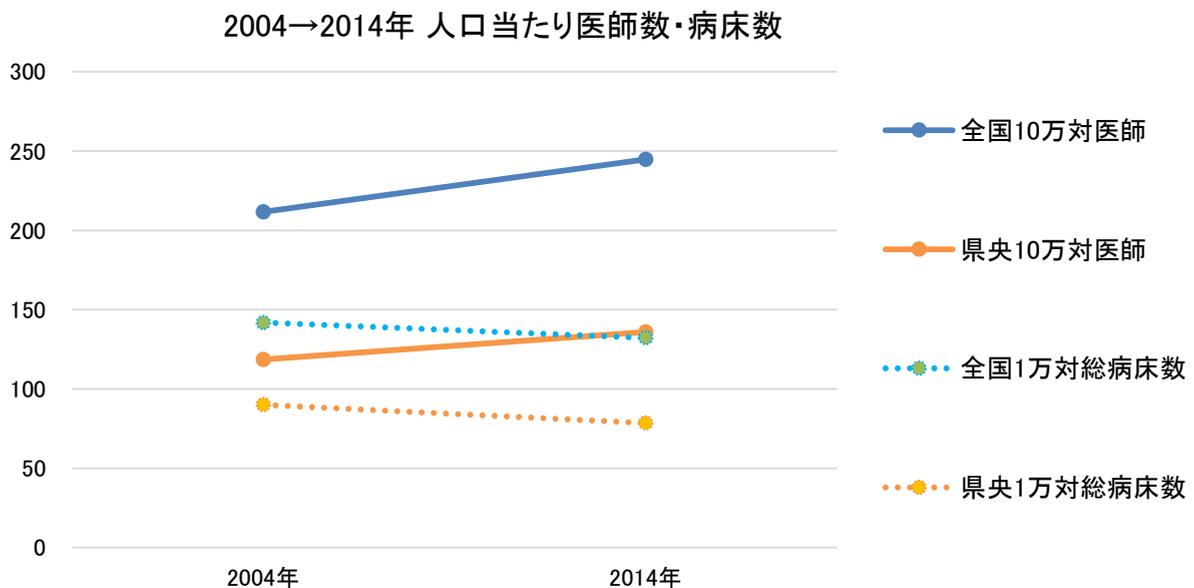
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が36(人口10万人当たり4.4病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に32(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が473(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に523(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、50診療所が増加した。

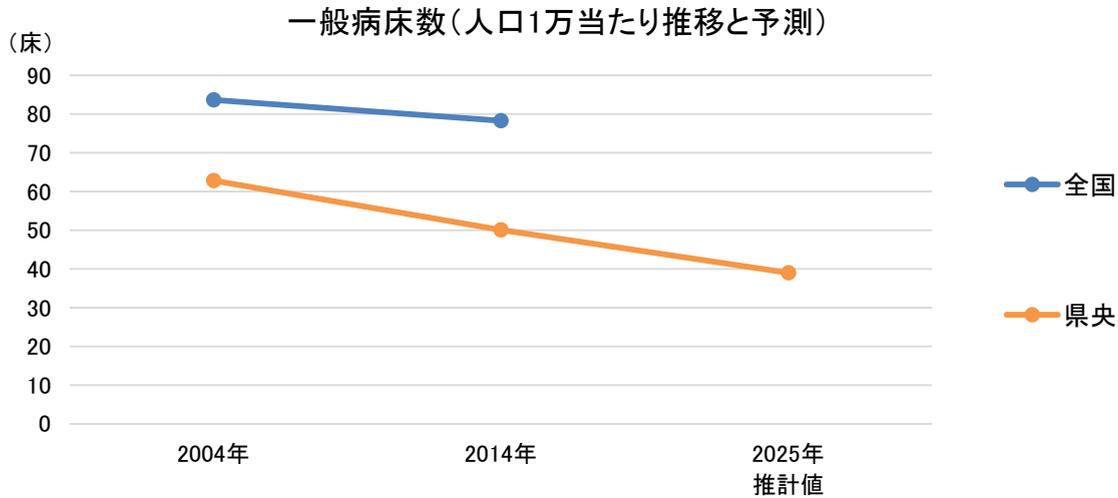
2004年の総病床数が7409床(人口1万人当たり90(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に6643床(人口1万人当たり79(全国平均132)偏差値40)と、766床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が976人(人口10万人当たり119人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に1149人(人口10万人当たり136人(全国平均245人)偏差値38)と、173人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



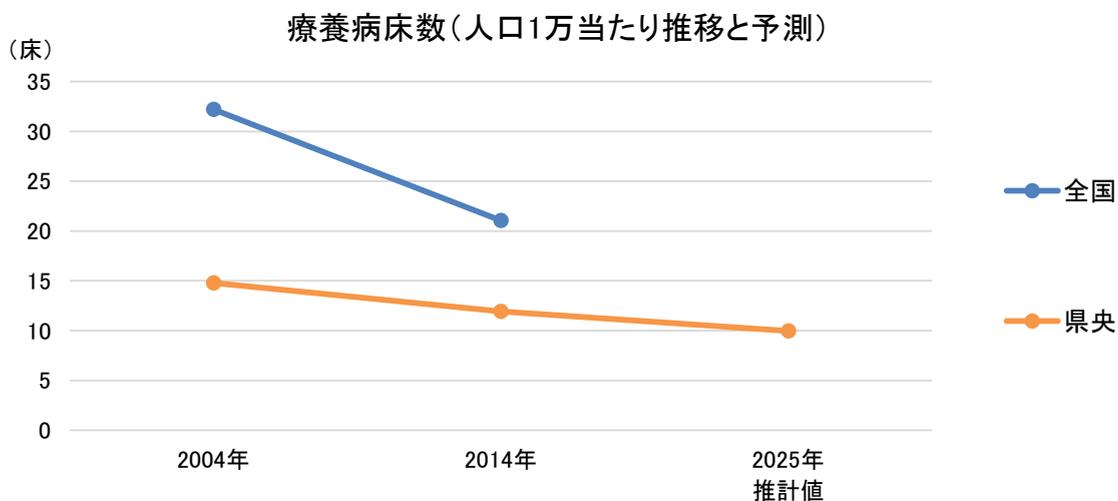
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5171床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に4238床(人口1万人当たり50(全国平均78)偏差値40)と、933床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3212床(2025年の推計人口1万人当たり39)になることが予想される。



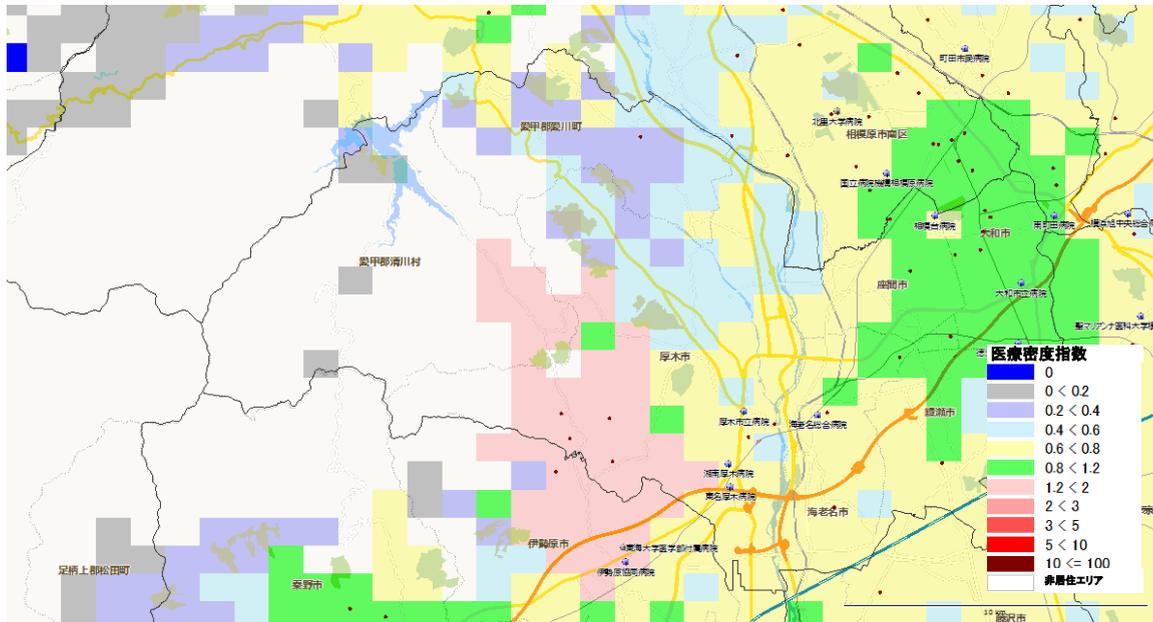
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が651床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に972床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値42)と、321床の増加、率にして49%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1325床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



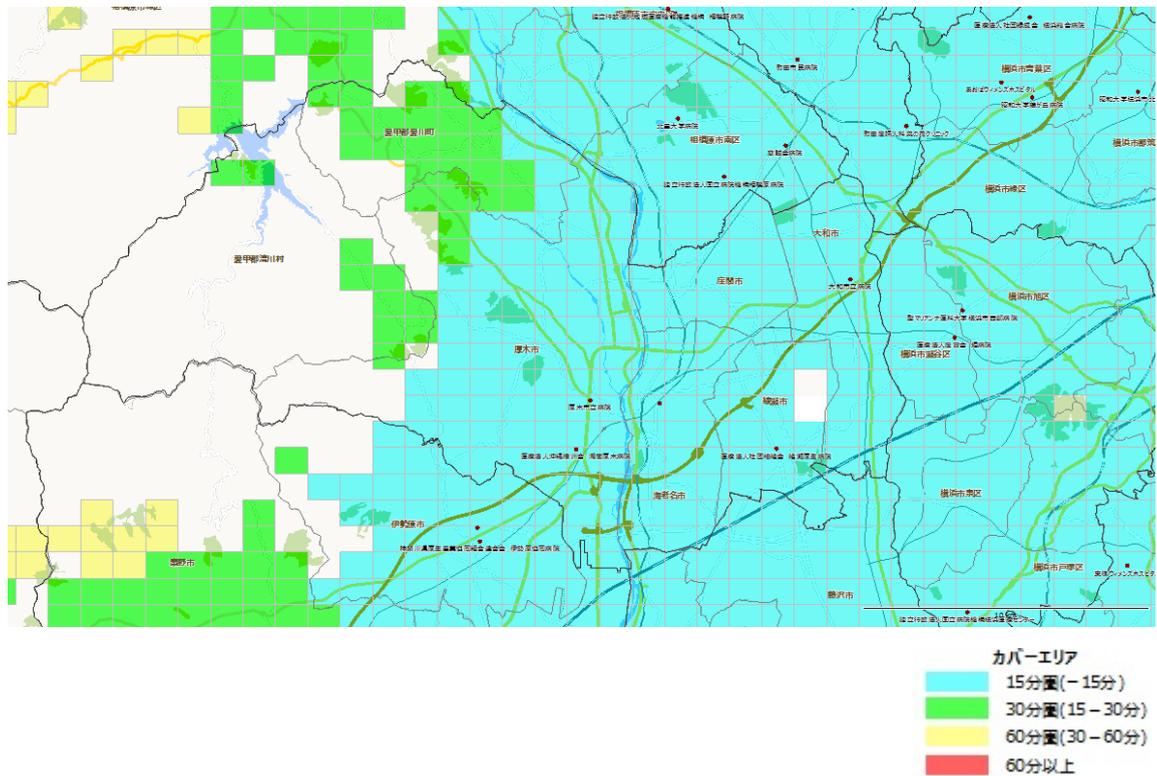
(県央医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

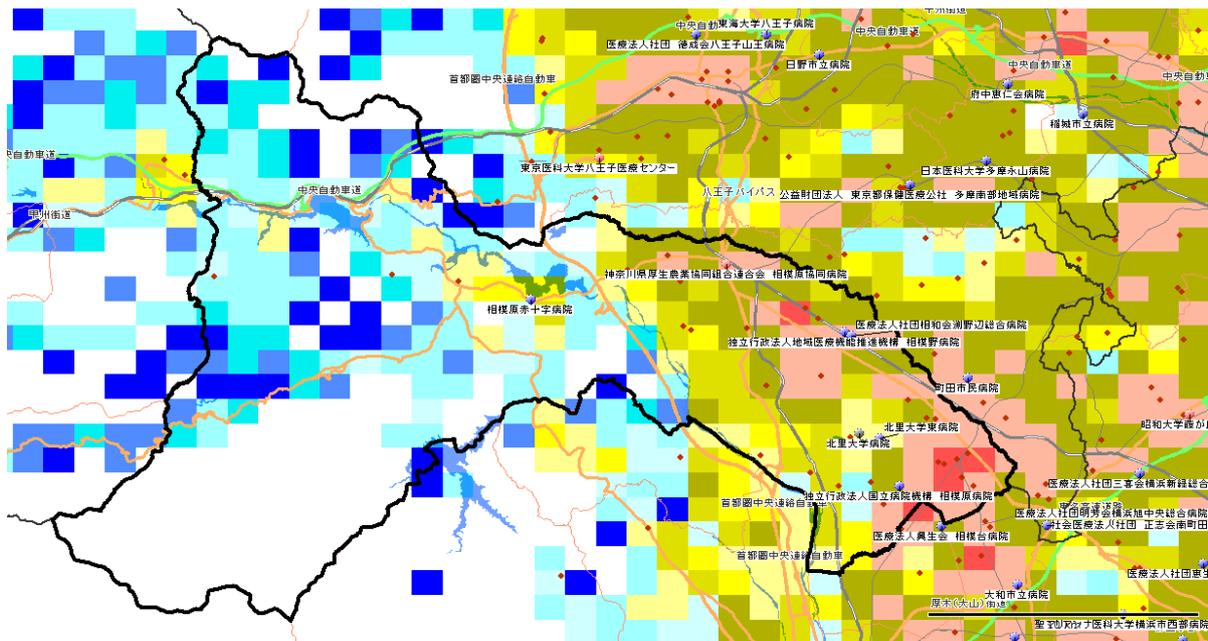
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



さがみはら 14-10. 相模原医療圏

構成市区町村⁹ [緑区](#) [中央区](#) [南区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(相模原医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 相模原(相模原市緑区)は、総人口約721千人(2015年)、面積329km²、人口密度は2193人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 相模原の総人口は2025年に711千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に651千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の73千人が、2025年にかけて120千人へと増加し(2015年比+64%)、2040年には130千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 相模原の一人当たり医療費(国保)は314千円(偏差値43)、介護給付費は217千円(偏差値40)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 相模原の一人当たり急性期医療密度指数²は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.82で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数53、診療所医師数41)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。相模原には、年間全身麻酔件数が2000例以上の北里大学病院(I群・救命)、相模原協同病院(III群)、1000例以上の国立病院機構相模原病院(III群)、500例以上のJCHO相模野病院(III群)、泌尿辺総合病院(III群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 相模原の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9254人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5095床(偏差値57)、高齢者住宅等が4159床(偏差値59)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6026人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設65、有料老人ホーム62、軽費ホーム46、グループホーム55、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、909人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(相模原医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

相模原医療圏の総人口は、2005年701630人が、2015年に720780人と3%増加し、2025年の人口が711310人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に22%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

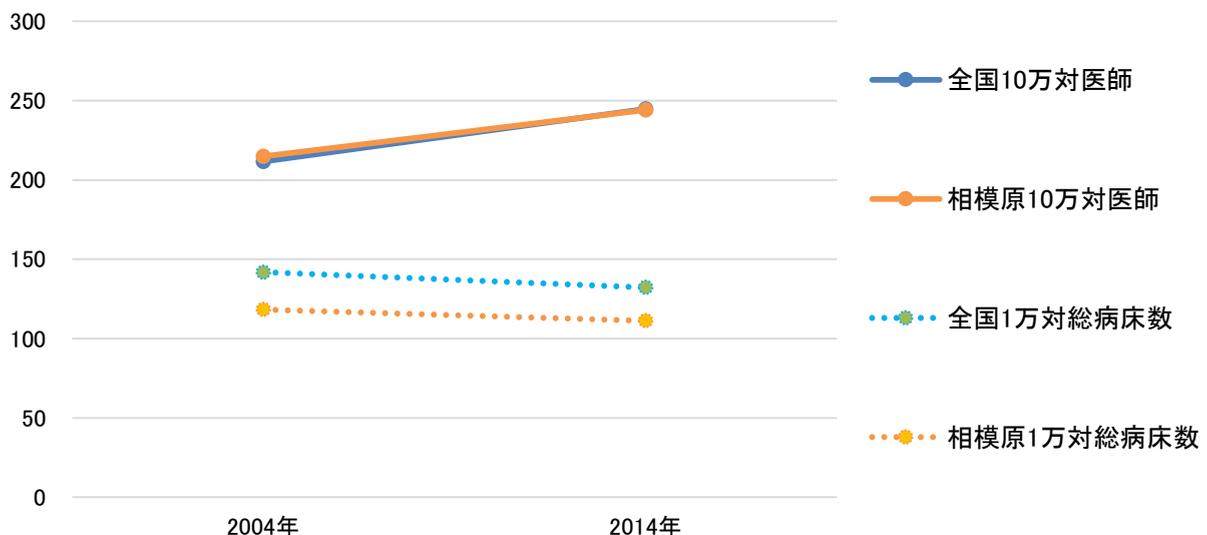
2004年の病院数が35(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に37(人口10万人当たり5.1病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が360(人口10万人当たり51診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に407(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値38)と、47診療所が増加した。

2004年の総病床数が8304床(人口1万人当たり118(全国平均142)偏差値46)であったが、2014年に8022床(人口1万人当たり111(全国平均132)偏差値46)と、282床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

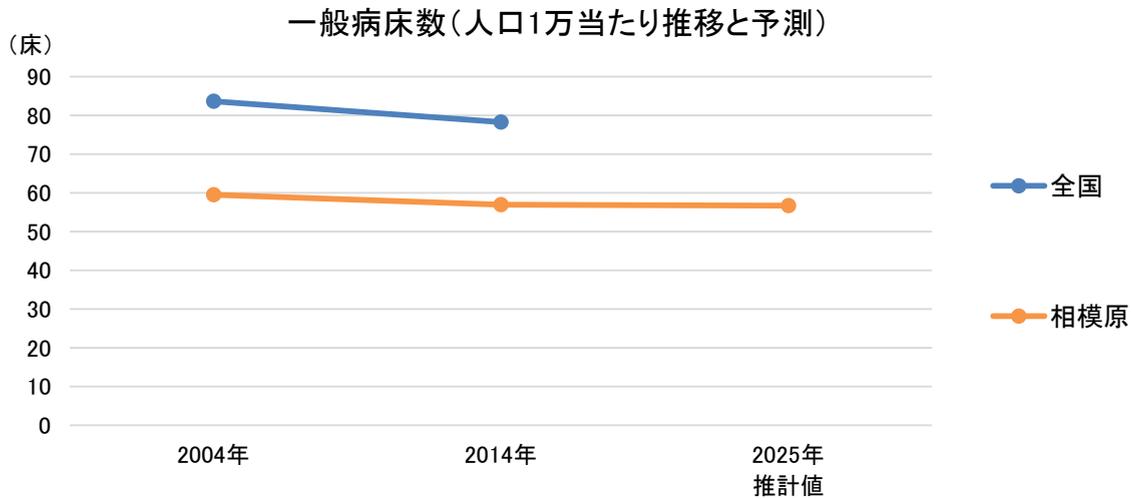
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1507人(人口10万人当たり215人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に1760人(人口10万人当たり244人(全国平均245人)偏差値50)と、253人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



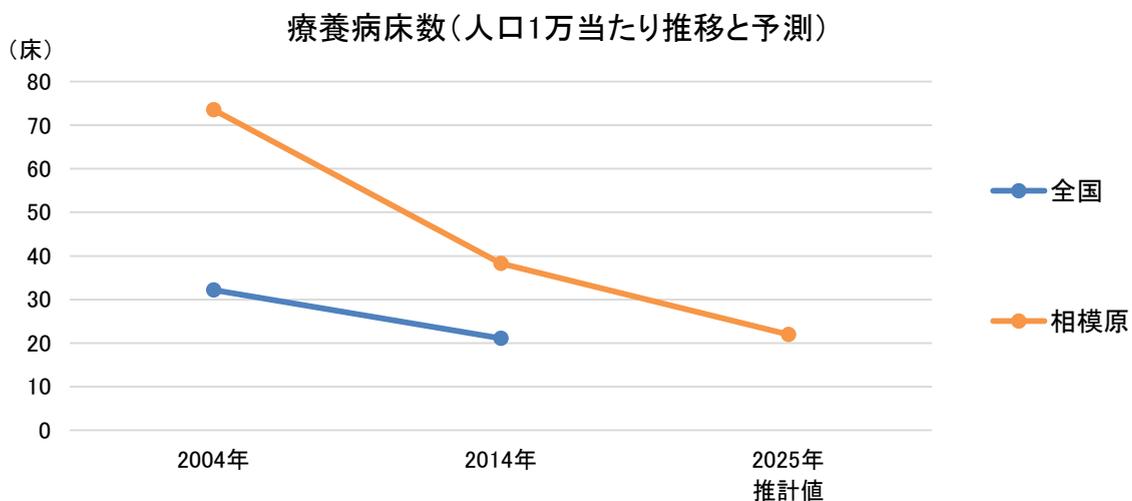
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4175床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に4107床(人口1万人当たり57(全国平均78)偏差値42)と、68床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4032床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



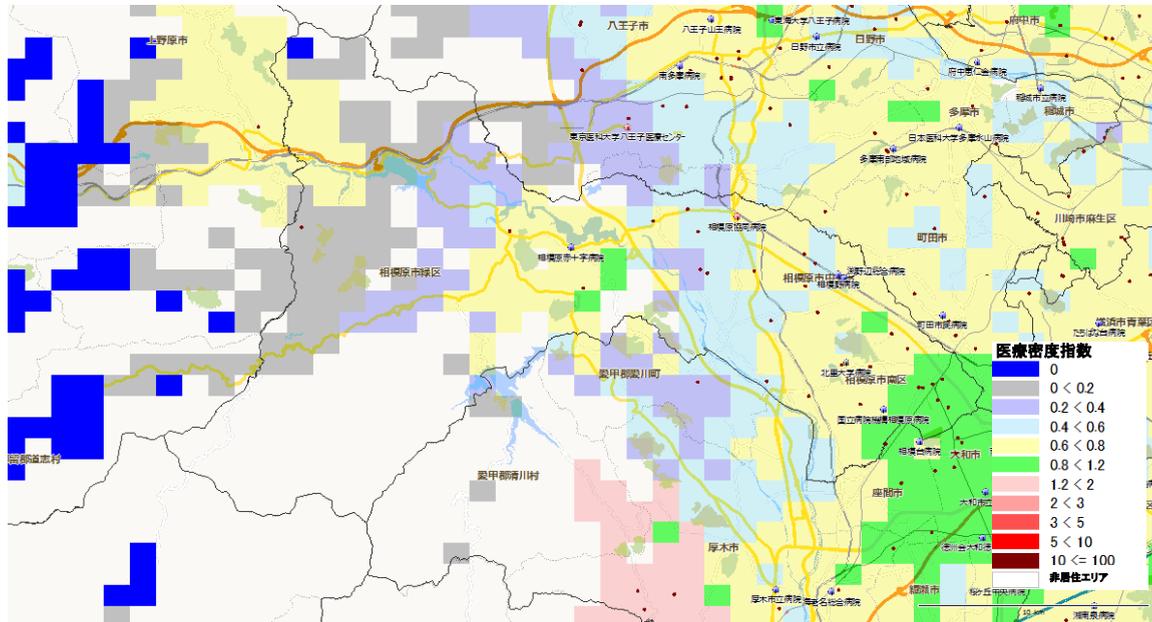
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2923床(75歳以上1000人当たり74(全国平均32)偏差値73)であったが、2014年に2784床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、139床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2631床(2025年の推計75歳以上1000人当たり22)になることが予想される。



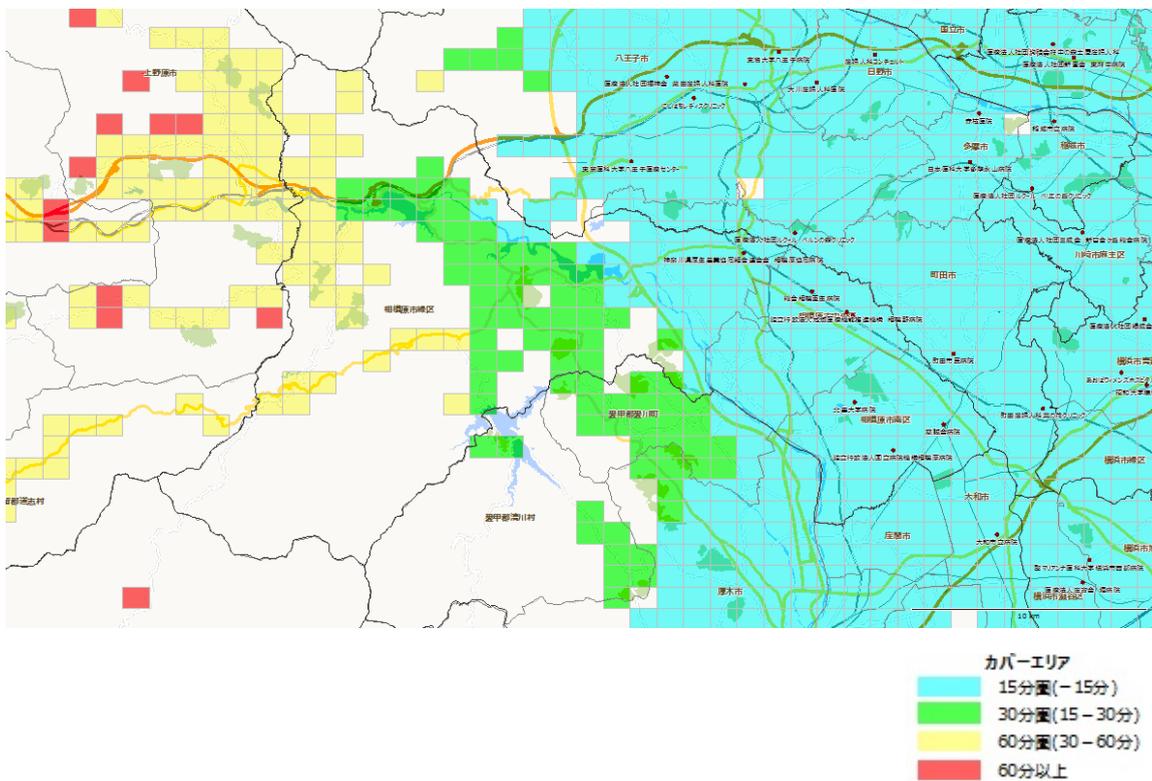
(相模原医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



けんせい 14-11. 県西医療圏

構成市区町村⁹

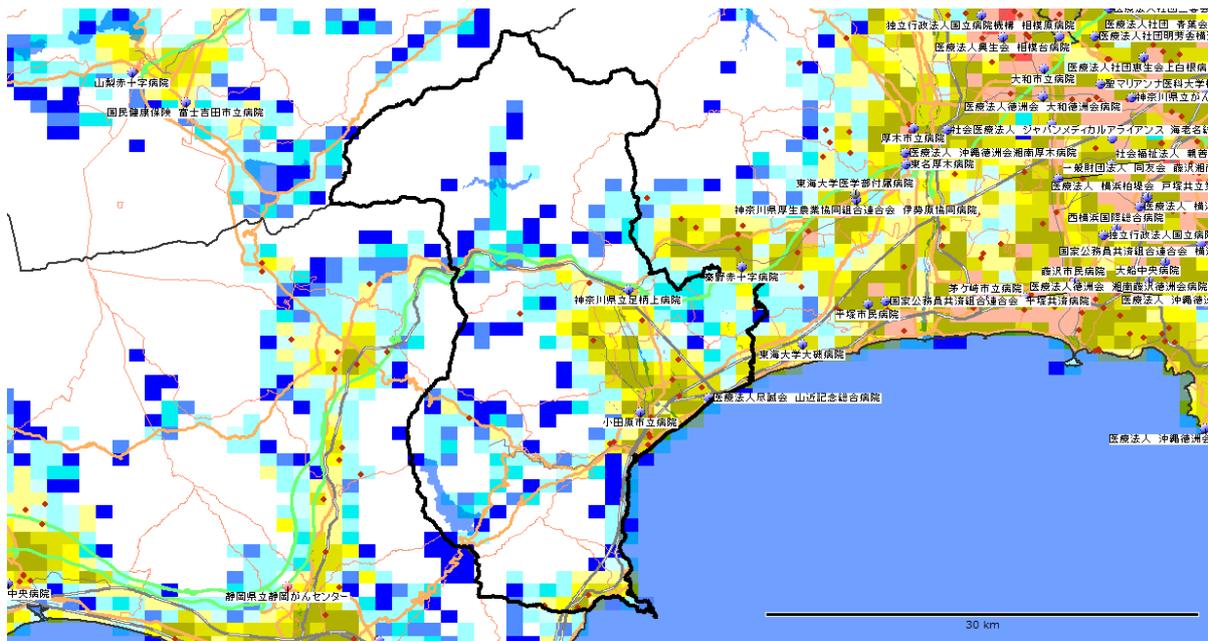
[小田原市](#)
[松田町](#)
[真鶴町](#)

[南足柄市](#)
[山北町](#)
[湯河原町](#)

[中井町](#)
[開成町](#)

[大井町](#)
[箱根町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県西(小田原市)は、総人口約347千人(2015年)、面積635km²、人口密度は547人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県西の総人口は2025年に325千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に275千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には61千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県西の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値51)、介護給付費は218千円(偏差値40)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県西の一人当たり急性期医療密度指数²は0.68、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。県西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小田原市立病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の山近記念総合病院(Ⅲ群)、神奈川県立足柄上病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6439人(75歳以上1000人当たりの偏差値68)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2805床(偏差値47)、高齢者住宅等が3634床(偏差値71)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3603人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム76、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム50、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、417人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(県西医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年361105人が、2015年に347157人と4%減少し、2025年の人口が324724人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

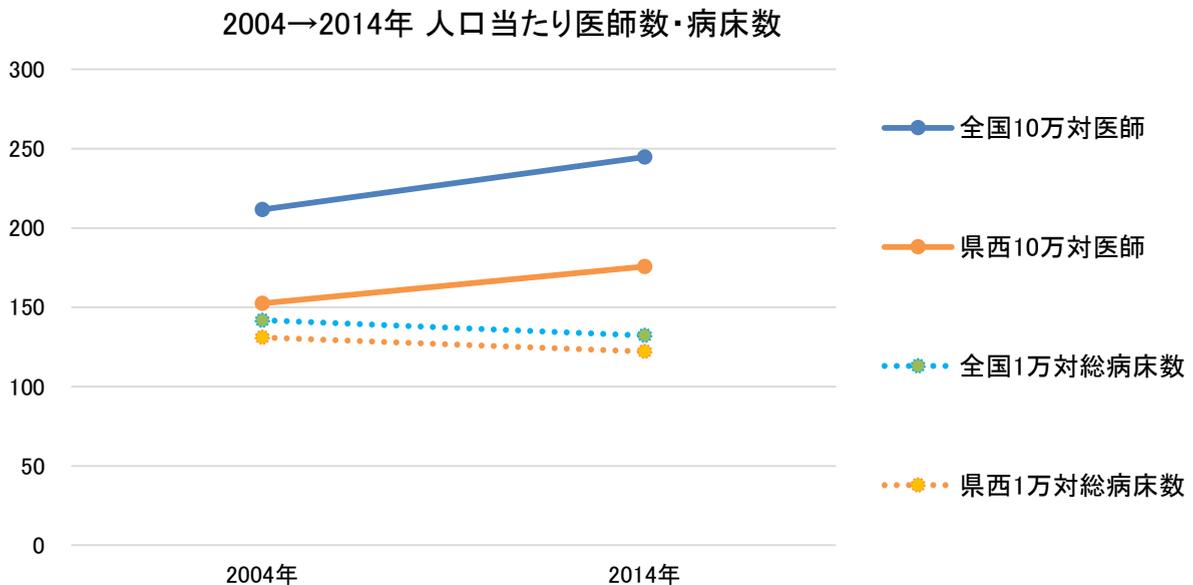
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が25(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に23(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に258(人口10万人当たり74診療所(全国平均79)偏差値47)と、7診療所が増加した。

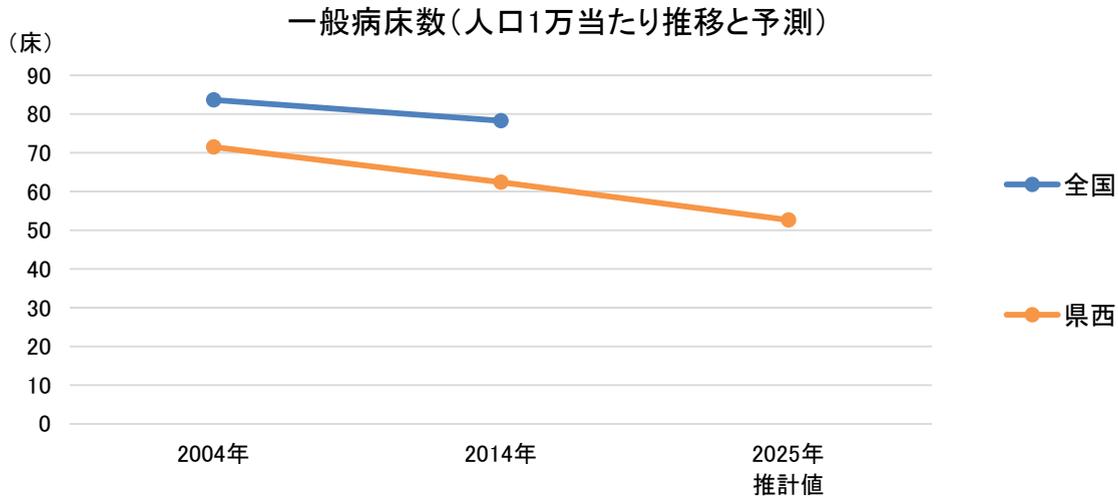
2004年の総病床数が4732床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に4241床(人口1万人当たり122(全国平均132)偏差値48)と、491床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が551人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に610人(人口10万人当たり176人(全国平均245人)偏差値43)と、59人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



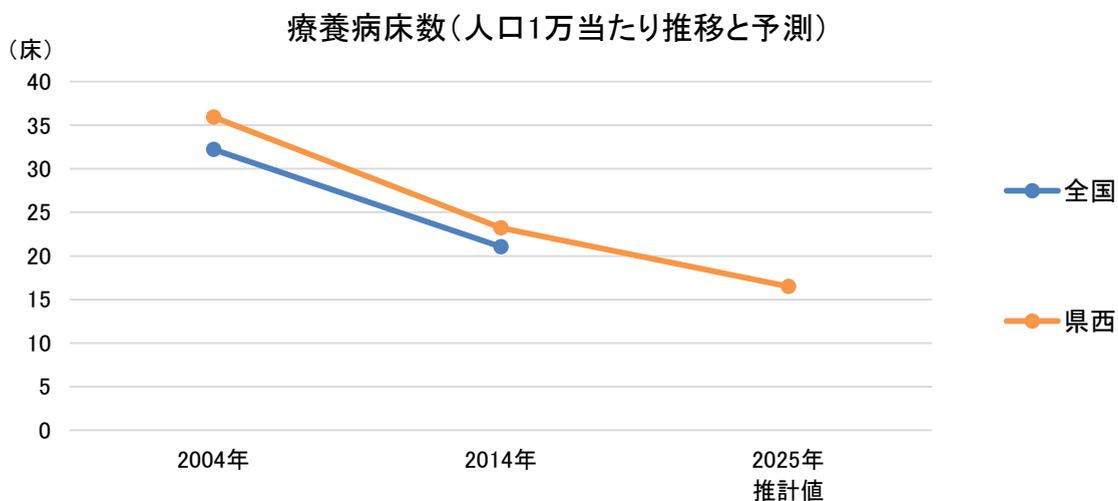
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2583床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2014年に2167床(人口1万人当たり62(全国平均78)偏差値44)と、416床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1709床(2025年の推計人口1万人当たり53)になることが予想される。



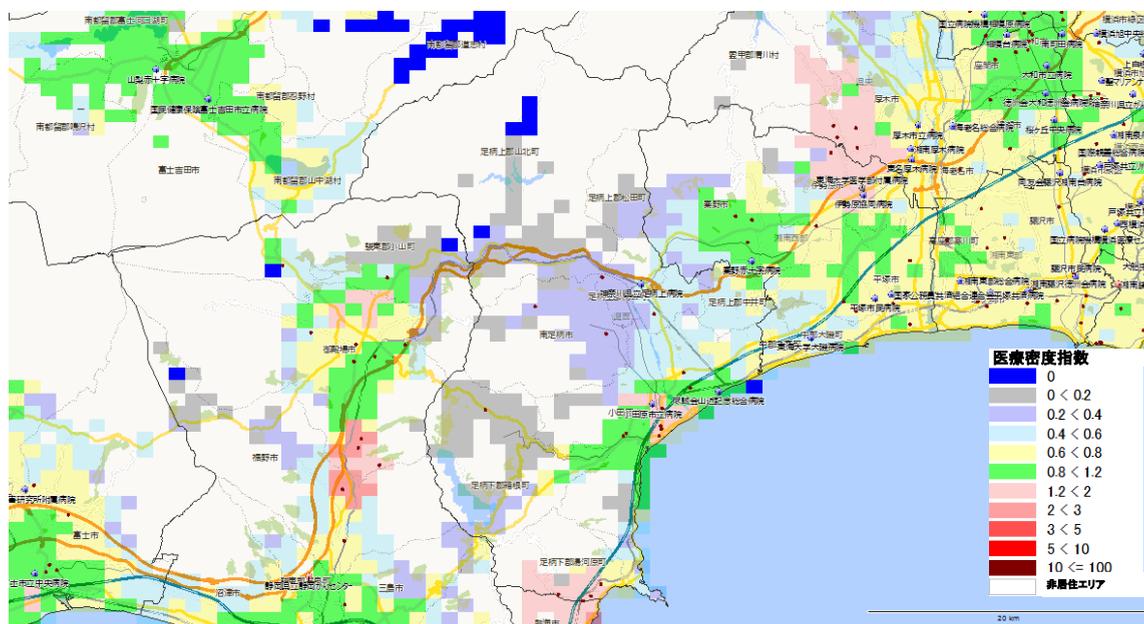
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1171床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に1119床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、52床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1062床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



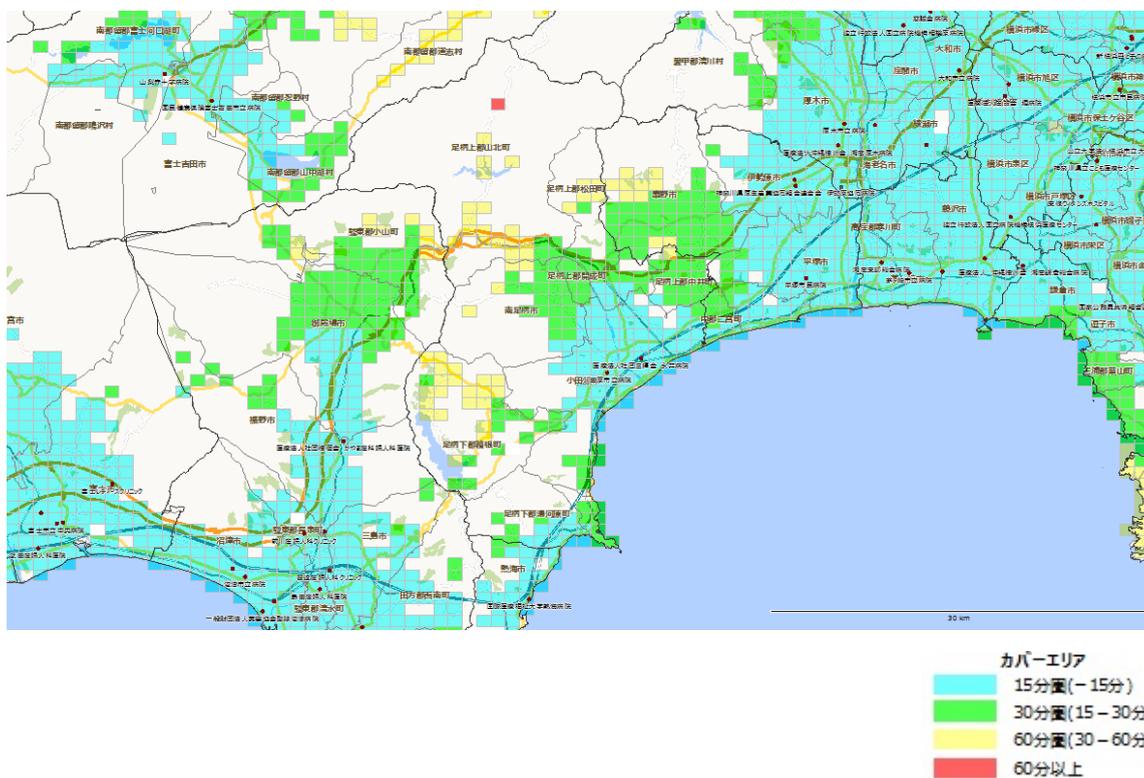
(県西医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表14-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表14-11-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。